

Panasonic[®]

品番

TH-47LFX60J (47V型)

TH-47LFX6NJ (47V型)

取扱説明書(詳細) フルハイビジョン液晶ディスプレイ (業務用)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(5～8ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-47LFX60J、TH-47LFX6NJ 共用です。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

HDMI

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

設置のための注意事項	3
安全上のご注意	5
お手入れ/上手な使いかた	9
エアークリナーのお手入れ	10
付属品の確認	11
別売品	11
リモコンの電池の入れかた	11
接続	12
端子カバーの外しかた	12
電源コードの接続と固定	12
映像機器の接続	13
AUDIO OUT (音声出力) 端子の接続例	14
HDMI (HDMI入力) 端子の接続例	14
DVI-D IN (DVI-D入力) 端子の接続例	15
PC IN (パソコン入力) 端子の接続例	16
パソコン入力 (PC IN) 端子の接続例	16
SERIAL (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)	17
DIGITAL LINK端子の接続例	18
各部の基本説明	19
基本の操作	21
電源を入れる	21
入力信号を切り換える	22
入力信号・画面モードなどを知りたいとき	23
音量を調整する	23
消音を使う	23
オフタイマー (OFF TIMER) を使う	23
画面領域を拡大表示する (デジタルズーム)	24
映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)	25
オンスクリーンメニューについて	27
画面位置/サイズの調整 (POS./SIZE)	28
自動位置補正	28

音声の調整 (SOUND)	30
画質の調整 (PICTURE)	31
テクニカル調整	32
初期設定 (SET UP)	33
信号モード	33
画面位置移動	34
YUV / RGB切換	35
無操作自動オフ	35
表示言語切換	35
スクリーンセーバー	36
入力表示書換設定	37
ECOモード設定	38
マルチ画面設定	39
タイマー設定	40
現在時刻設定	40
メニュー表示時間・メニュー透過率	41
アウトドアモード	41
メンテナンス情報	42
ネットワーク設定	43
オプション (Options) メニュー	46
ネットワーク機能を使う	50
ネットワーク接続	50
DIGITAL LINK接続 (ツイストペアケーブル伝送器との接続)	51
コマンドコントロール	52
PJLink™プロトコル	52
WEBブラウザコントロールを使う	53
WEBブラウザコントロールを使う前に	53
WEBブラウザからのアクセス	53
ディスプレイの制御 (BASIC CONTROL / OPTION CONTROL画面)	54
ネットワーク設定 (NETWORK SETTING画面)	55
パスワード設定 (CHANGE PASSWORD画面)	55
Crestron Connected™ (Crestron Connected™操作画面)	56
IDリモコン機能を使う	58
工場出荷時の設定に戻すには	59
表示可能な入力信号	60
修理を依頼される前に	61
保証とアフターサービス (よくお読みください)	62
仕様	63

商標について

- VGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac、Mac OS、OS X、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- RoomView、Crestron RoomView、Fusion RV は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。Crestron Connected は Crestron Electronics, Inc. の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

設置のための注意事項

- お客様による設置は絶対に行わないでください。設置は専門の工事業者またはお買い上げ販売店にご依頼ください。
- 本機の防塵・防水性能はIP55相当^{*1}です。本機の防塵性・防水性に手を加えたり、損傷を与えるようなことはしないでください。
- 本機の防塵・防水性能は、無破損・無故障を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 防塵性・防水性が損なわれた状態で使用しますと、火災・感電・故障の原因となります。
- 本機は、国際規格であるIP値（Ingress Protection 内部侵入に対する保護）において防塵性能5 レベル、防水性能5 レベルに相当する性能を有します。

これから説明する内容は、本機の防塵性・防水性を損なわないようにするためのものです。

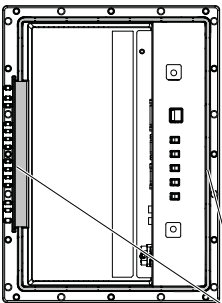
■ 端子カバーについて

機器のケーブル類を端子に接続した後、端子カバーを取り付ける際には密閉が正しく行われること、すべての固定用ネジを使って固く端子カバーが閉められていることを確認してください。

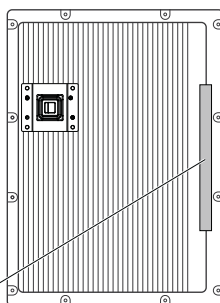
端子カバーの密閉を正しく行うために下記のポイントに注意してください。

- 固定用シール材がカバー内の正規の場所に固定されているか確認してください。固定用シール材はケーブル部分を密閉するための重要な部品です。

本体後面端子部



端子カバー裏面

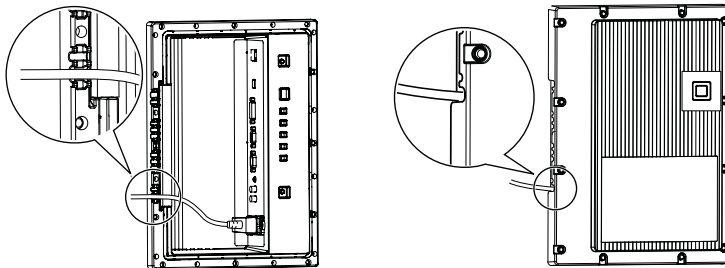


固定用シール材

お知らせ

IPX5相当の防水性能とは、いかなる方向からの噴流水によっても有害な影響を受けない性能を言います。

- ケーブルは端子板ベースにある窪んだ部分の型に密着させてください。



端子板ベースにある窪みに沿って引き出されたケーブルを、端子板ベースと端子カバー両方の固定用シール材で挟み込んで密閉を保つ構造になっています。

*1：(株) コスモス・コーポレーション評価試験による

設置のための注意事項

■ 保護コーティングについて

- キャビネットのアルミ部分や後面はコーティングにより腐食から保護されていますので、表面に傷を付けないように気をつけてください。傷がついた場合はそこから腐食が進む可能性があります。

■ 設置する場所について

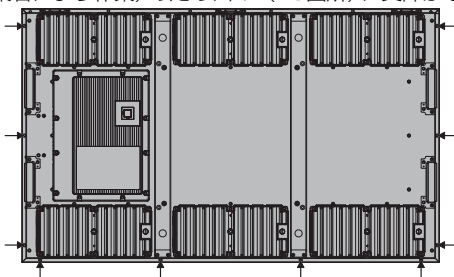
- 直射日光が当たると画面に黒い影を発生させることがあります。この影は温度が下がると消えます。
- プールや温泉、海の近く、薬品やガスを使用する工場内などの特殊な環境に長期間設置する場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機は冷却用のファンとエアフィルターを搭載しており、エアフィルターにほこりがたまった場合は清掃や交換が必要です。エアフィルターの取り外し、取り付け作業および排熱のためにディスプレイ周辺に空間が必要となります。作業と排熱を考慮し、空間を設けて設置してください。
上下・左右を壁で囲んで本機を設置する場合は、販売店にご相談ください。

■ 設置の条件について

- 外気温度が0℃以下になる環境で使用する場合は、必ずアウトドアモードを「オン」に設定してください。内部の温度を保ち、起動をスムーズに行います。(P.21・41 ページ)
- 長時間、連続して水をかけるような状態での展示や使用をされる場合は、販売店にご相談ください。
- 必ず周囲温度0～50℃(アウトドアモード使用時-20～50℃)の範囲で使用してください。周囲温度とは本体背面での吸気直前の温度を言います。
- 太陽光が直接当たる場所に設置される場合は、アウトドアモードを「オン」に設定してください。
- ディスプレイは前後方向それぞれ20度以内で傾けて使用できます。

■ 壁などに設置する場合

- 取付金具については事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 背面固定の際はVESA規格(400×400)に準拠した取付金具を使用してください。なお、VESA準拠取付金具の一部が、フィルターカバーや端子カバーの取り付け、取り外し、また前面扉開閉(サービス業者により作業)のため、ネジ(10箇所)に支障がないようご注意ください。





- 設置場所は本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できる、強度のある場所をお選びください。強度が不足する場所への設置は、落下など重大な事故の原因となることがあります。
- 人がぶら下がったり、寄りかかれるような場所、通行人がぶつかってしまうような場所には設置しないでください。事故の原因となることがあります。
- 取付金具や取り付け場所に不具合が発生した場合を想定して、転倒・落下防止などの対策を行ってください。
- 周囲の環境によっては経年変化などで取付強度が不足する場合があります。専門の工事業者に依頼し、定期的に点検や補修を行ってください。
- ネジのゆるみなどの異常や不具合が発見された場合は、すぐに専門の工事業者またはお買い上げ販売店に修理を依頼してください。
- 据付・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、弊社は一切責任を負いません。

安全上のご注意 必ずお守りください


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。

警告

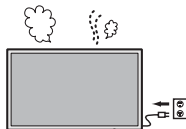
異常が発生したときはすぐに使用をやめてください

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切る、または、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

- 故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！
電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントを使用ください



電源プラグ
を抜く

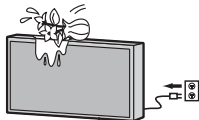


煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

- 内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！



電源プラグ
を抜く



- 異物を入れないでください



内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
●特にお客様にはご注意ください。

- 壁掛け工事や天吊り工事は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 壁への取り付けにはVESA規格標準の壁掛け金具(VESA 400x400)を必ず使用してください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

- 防塵性・防水性が損なわれた状態で使用しますと、火災・感電・故障の原因となります。



警告

電源コードについて

- クラスⅠ構造の本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください



- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください
- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。



火災や感電の原因となります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的な掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



めれ手禁止



感電の原因となります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しないでください
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。



- 端子カバーをしっかりと取り付けて使用してください



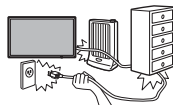
防塵防水性が損なわれ、火災・感電・故障の原因となります。

- 付属品のねじは乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むおそれがあります。
● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください



傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

- 雷が鳴りだしたら本機には触れないでください



接触禁止



感電の原因となります。

警告

■ 不安定な場所に置かないでください



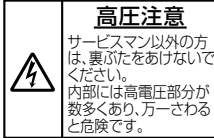
ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



「本体に表示した事項」

注意

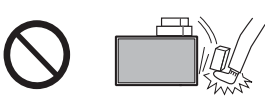
■ 本機の吸気口、排気口をふさがないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

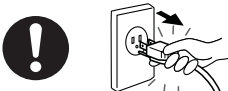
- 上下・左右・後面は20cm以上の間隔をおいて据え付けてください。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。
- 動作使用条件の温度範囲内で使用してください。

■ 上に物を置かないでください



倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ 本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■ 本機に脚立を立てかけるなどしないでください



落下してけがの原因となることがあります。

■ 長期間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動させる場合は、接続線を外してください



コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグや機器間の接続線や転倒防止具を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 本機に衝撃を与えないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

■ 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください



間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 強い力や衝撃を加えないでください



前面ガラスが割れてけがの原因となることがあります。

■ 電源についてお守りください



- 本機は電源コンセントの近くに設置し、万一異常が生じたときはすぐに電源プラグを抜けるようにしてください。
- 壁などに設置した場合でも、万一の異常に備え、すぐに電源プラグを抜くことができるコンセントから電源をとってください。
- 本機は電源プラグをコンセントに差し込んだ状態では通電しています。完全に電源から切り離すためには、電源プラグをコンセントから抜く必要があります。

■ 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください ■ 運搬や移動をする場合は、必ずハンドルを持ち行ってください



落下してけがの原因になることがあります。

■ 接続ケーブルを引っばったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

■ 電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください



機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ キャビネットの取り扱いに注意してください



- 金属製キャビネットのコーナー部分などにぶつかりますとけがの原因となることがあります。
- 本機を持ち上げるときはハンドルを持ち、落下に注意してください。けがや破損の原因となることがあります。

お手入れについて

■ 1年に一度は設置・接続状況の点検をしてください



設置の安全性や接続の状況を確認し、トラブルを未然に防止するため、点検をお勧めします。費用などは販売店にご相談ください。

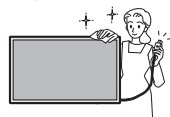
■ エアークフィルタ交換の際は、ファンには触れないでください



■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

お手入れ / 上手な使いかた

■ 設置されるとき

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

● 機器相互の干渉に注意してください。

電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけて設置してください。

● 機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

各機器の説明書に従って、接続してください。

● 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

● 本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

指定の取り付けユニットをご使用ください。

● 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

● 熱器具から離して設置してください。

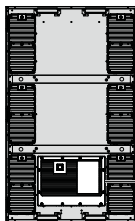
キャビネットの変形や故障の原因となります。

● 本機を移動されるとき。

ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

● 本機を縦置きに設置されるとき。

縦置き設置する場合は、必ず端子カバーを下側にして設置してください。



端子カバー

■ ご使用になるとき

● 本機は残像が発生することがあります。

静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

● 画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

● ガラス表面について

ガラス表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。

傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

● ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。

前面、天面、背面の一部は温度が高くなっておりませんが、性能・品質には問題ありません。

● 長時間で使用にならないときは

・電源プラグをコンセントから抜いておいてください。リモコンで電源を切った場合は約 0.5 W、本体の電源を切った場合は約 0.3 W の電力を消費します。([アウトドアモード]が「オフ」の場合)

・電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所に保管しないでください。直射日光が当たると液晶パネルに悪影響を与える場合があります。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

● キャビネットの汚れは柔らかい布 (綿・ネル地など) で軽くふく

・ひどい汚れやガラスの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



・水滴が内部に入ると故障の原因になります。

・ガラスの汚れはスポンジや布、ゴム雑巾で洗浄することができます。

強酸性溶液、強アルカリ溶液、特にフッ化物を含む洗浄剤は使用しないで下さい。

ガラス表面の反射防止材を傷し、修復不可能な損傷を与えます。

お知らせ ガラスの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

● 化学そうきんのご使用について

・ガラスの表面には使用しないでください。

・キャビネットにご使用の際はその注意書に従ってください。

● 殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



お手入れ / 上手な使いかた

エアフィルターのお手入れ

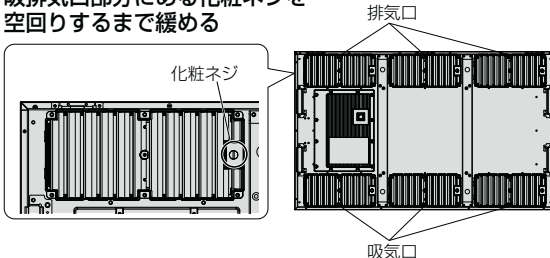
本機は外部から取り込んだ空気をファンでディスプレイ内部に循環させて冷却を行う構造です。吸気口と排気口にエアフィルターを内蔵しています。

電源を入れたとき画面に「Filter」と表示される、または電源ランプが緑色と橙色の交互に点灯しているときは、エアフィルターにほこりがたまっていきます。初期設定の「メンテナンス情報」でエアフィルターとファンの状態を確認し、必要に応じてエアフィルターの掃除または交換、ファンの点検を行ってください。



エアフィルターの取り外し

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 吸排気口部分にある化粧ネジを空回りするまで緩める

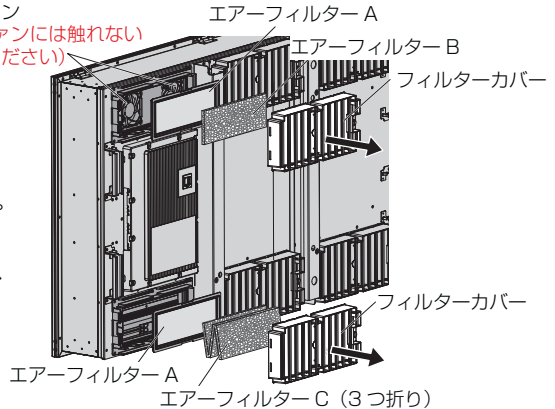


エアフィルター交換の際は、本体内部に異物が入らないようご注意ください。
万一異物が入った場合は、無理に取ろうとはせず、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 3 フィルターカバーを外し、エアフィルター B およびエアフィルター C を取り出す
- 4 エアフィルター A を取り出す

エアフィルターの取り付け

排気口はエアフィルター B を取り付けます。
吸気口はエアフィルター C を3つ折りにして取り付けます。
フィルター取り付け時はお間違いないよう、お願いいたします。
フィルターカバーを取り付け、化粧ネジを締めてください。
フィルターカバーが固定されている事を確認してください。



● エアフィルターの清掃

エアフィルターを清掃する場合は、水で200倍に薄めた中性洗剤で漬洗いした後、水洗いし、日陰で乾かしてください。

お願い

- エアフィルターは必ず取り付けで使用してください。取り付けずに使用するとゴミやほこりを吸い込み、故障の原因となります。
- エアフィルターが破損した場合や清掃しても汚れが目立つ場合は、新しいエアフィルターに交換してください。交換に際してはお買い上げ販売店にご相談ください。
- エアフィルターに付着するゴミやほこりの量は、設置した場所や使用時間によって異なります。ほこりがたまりやすい状況では清掃の回数を増やしてください。
- 内部のファンや配線には触れないでください。
- 高所に取り付けられたディスプレイでエアフィルターの取り外し、取り付けを行う際は、作業の安全と部品の落下にご注意ください。

お知らせ

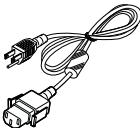
エアフィルター清掃の目安は1ヶ月に1回、エアフィルター交換の目安は1年に1回です。

● 吸気口内部にはファンはありません。

付属品の確認

付属品が入っていることをご確認ください。() は個数です。

お願い 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。

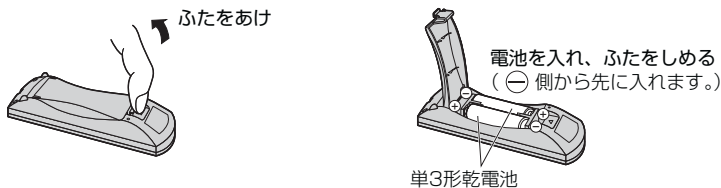
<input type="checkbox"/> 電源コード (1) 	<input type="checkbox"/> リモコン (1) N2QAYB000691 	<input type="checkbox"/> 単 3 形乾電池 (2) 
<input type="checkbox"/> 取扱説明書 (1) 	<input type="checkbox"/> ドアホルダー (2)  <div data-bbox="437 616 669 679">本機をメンテナンスするときに業者が使用します。</div>	<input type="checkbox"/> Panasonic バッジ (1) <div data-bbox="796 464 1028 520">本機設置時に業者が本機の枠部分に貼り付けます。</div> <input type="checkbox"/> ねじ (12) XYN4+F10VM 

別売品

- 交換用エアークフィルタ：TY-AF60STD (エアークフィルタ A：6枚、エアークフィルタ B：3枚、エアークフィルタ C：3枚)

- お願い**
- 壁掛けまたは天吊りの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
 - 指定外の壁掛け金具または天吊り金具の使用、ならび壁掛け金具または天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
 - ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
 - 設置時、衝撃などによる「パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

リモコンの電池の入れかた

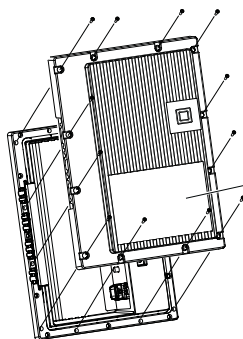


- お願い**
- リモコンに液状のものをかけないでください。
 - リモコンを落とさないでください。
 - 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

接続

端子カバーの外しかた

本機の入出力端子には防塵防水機能を保持するための端子カバーが取り付けられています。ケーブル類を接続するために端子カバーを取り外すときは、端子カバーの取り付けネジを全て（12本）外してください。一部のネジが残った状態で端子カバーを開くと、端子カバーが破損しますのでご注意ください。

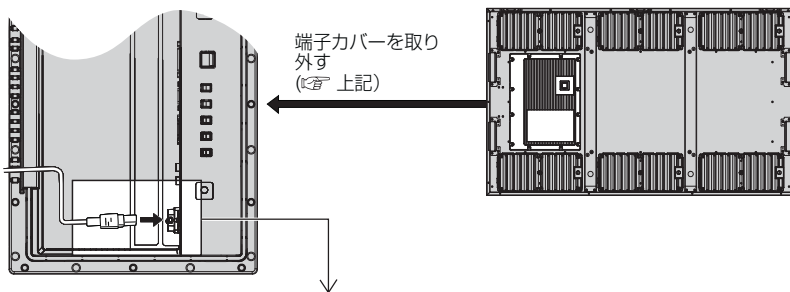


ネジ（12箇所）を外して、端子カバーを取り外してください。

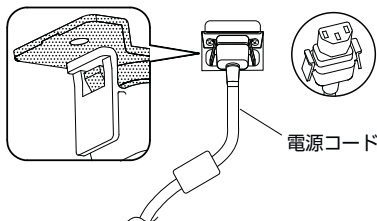
電源コードの接続と固定

お願い

- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。
- 接続後は、ケーブルが溝に沿って重なりなく引き出されていることを確認し、必ず12本すべてのネジを締め、端子カバーをしっかりと取り付け使用してください。内部に水などが浸入して火災や感電、故障の原因となります。端子カバーの取り扱いについては、3ページの「端子カバーについて」を必ずお読みになり、正しくお使いください。



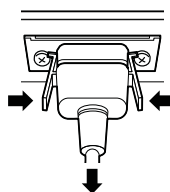
電源コードの固定方法



お願い

左右のロックが掛かっていることを確認してください
電源プラグを本体へ差し込む
カチッと音がするまで差し込んでください。

電源コードを外すとき

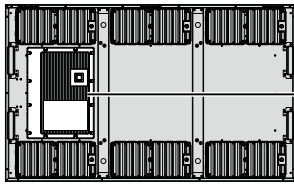


電源プラグ横のつまみを押しながら抜いてください

お願い

電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

映像機器の接続



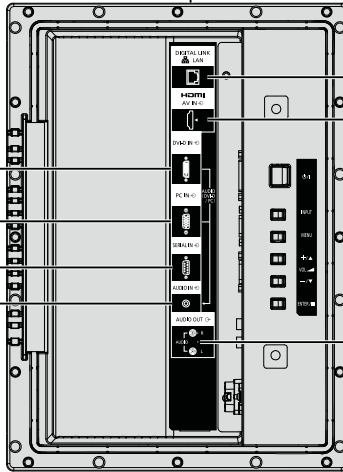
端子カバーを取り外す
([12ページ](#))

DVI-D IN
DVI-D入力端子
([15ページ](#))

PC IN
パソコン入力端子
([16ページ](#))

SERIAL IN
SERIAL入力
パソコンに接続して本機を制御
します。
([17ページ](#))

AUDIO IN (DVI-D / PC)
DVI-D IN, PC INに接続した機
器の音声出力を接続します。
([15・16ページ](#))



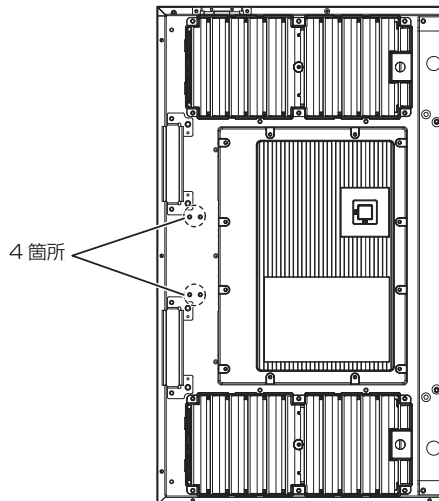
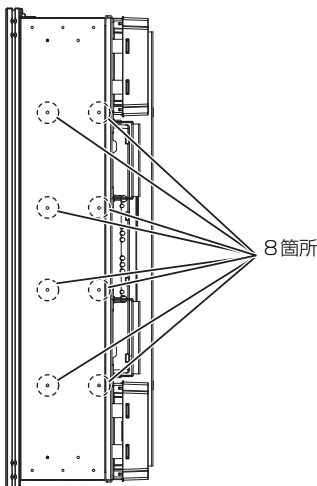
LAN, DIGITAL LINK*
DIGITAL LINK入力端子
ネットワークに接続して本機
を制御します。または、
DIGITAL LINK端子経由で
映像・音声信号を送出する機
器を接続します。
([18ページ](#))

AV IN
HDMI
HDMI入力端子
([14ページ](#))

AUDIO OUT
オーディオ機器に接続します。
([14ページ](#))

※ DIGITAL LINK は、映像・音声などの信号をツイストペアケーブルを使用して伝送する技術です。
([18・51ページ](#))

- 下記の位置のねじ穴は、配線処理用金具の取り付けなど、必要に応じてご使用ください。
(ねじ穴には付属のねじをご使用ください。)

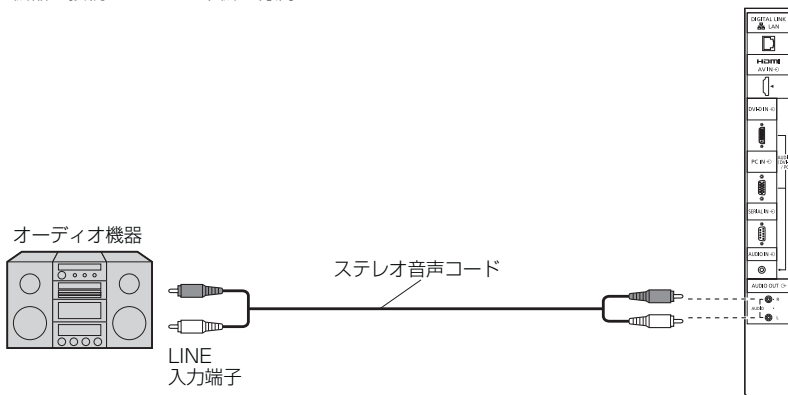


接続

AUDIO OUT (音声出力) 端子の接続例

お知らせ

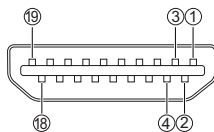
オーディオ機器や接続ケーブルは本機に付属していません。



HDMI (HDMI入力) 端子の接続例

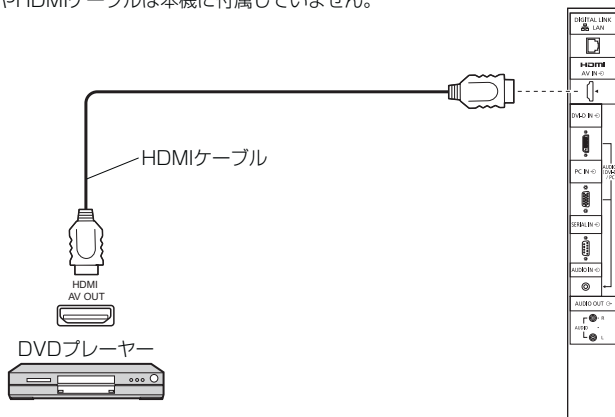
HDMI端子のピン配列と信号名

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ2 +	⑪	T.M.D.S クロックシールド
②	T.M.D.S データ2 シールド	⑫	T.M.D.S クロック
③	T.M.D.S データ2 -	⑬	CEC
④	T.M.D.S データ1 +	⑭	予備 (接続なし)
⑤	T.M.D.S データ1 シールド	⑮	SCL
⑥	T.M.D.S データ1 -	⑯	SDA
⑦	T.M.D.S データ0 +	⑰	DDC/CEC グランド
⑧	T.M.D.S データ0 シールド	⑱	+5V 電源
⑨	T.M.D.S データ0 -		ホットプラグ検出
⑩	T.M.D.S クロック+		



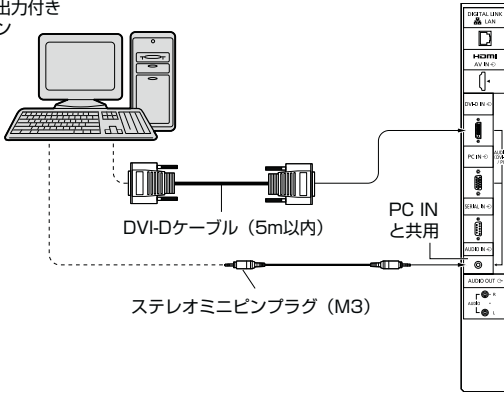
お知らせ

映像機器やHDMIケーブルは本機に付属していません。

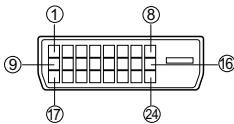


DVI-D IN (DVI-D入力) 端子の接続例

DVI-D出力付き
パソコン



DVI-D入力のピン配列と信号名



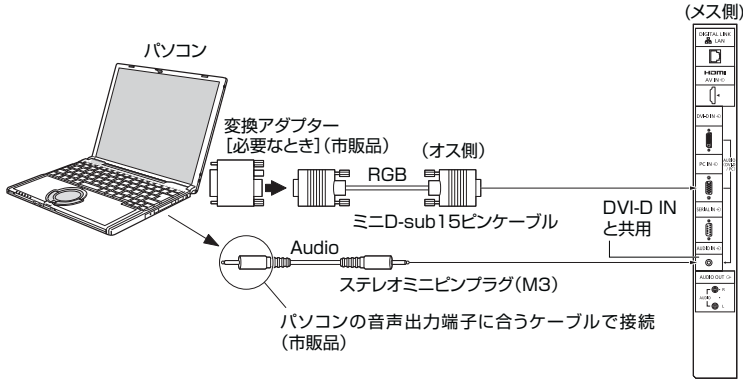
ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S. データ 2 -	⑬	_____
②	T.M.D.S. データ 2 +	⑭	+5V 電源
③	T.M.D.S. データ 2 シールド	⑮	アース
④	_____	⑯	ホットプラグ検出
⑤	_____	⑰	T.M.D.S. データ 0 -
⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S. データ 0 +
⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S. データ 0 シールド
⑧	_____	⑳	_____
⑨	T.M.D.S. データ 1 -	㉑	_____
⑩	T.M.D.S. データ 1 +	㉒	T.M.D.S. クロック シールド
⑪	T.M.D.S. データ 1 シールド	㉓	T.M.D.S. クロック +
⑫	_____	㉔	T.M.D.S. クロック -

お知らせ

映像機器や接続ケーブルは本機に付属していません。

接続

PC IN (パソコン入力) 端子の接続例



接続できるパソコン信号の種類

- 対応周波数は水平：30 kHz～110 kHz、垂直：48 Hz～120 Hz です。
※ パソコン側が以下の信号に対応している必要があります。

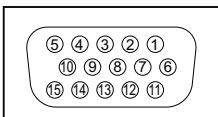
640×400:70 Hz	800×600:75 Hz	1280×960:60 Hz	640×480:67 Hz (Mac13")
640×480:60 Hz	800×600:85 Hz	1280×960:85 Hz	832×624:75 Hz (Mac16")
640×480:72 Hz	1024×768:60 Hz	1280×1024:60 Hz	1152×870:75 Hz (Mac21")
640×480:75 Hz	1024×768:70 Hz	1280×1024:75 Hz	
640×480:85 Hz	1024×768:75 Hz	1280×1024:85 Hz	
800×600:56 Hz	1024×768:85 Hz	1600×1200:60 Hz	
800×600:60 Hz	1152×864:75 Hz	1366×768:60 Hz ※	
800×600:72 Hz	1280×768:60 Hz ※	1920×1080:60 Hz	

- 「ノーマル」で最大1440×1080ドット、「フル」で最大1920×1080ドットの表示が可能です。(SXGA 対応) 水平または垂直解像度が上記ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が上記の表に該当しているかを確認の上、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。(パソコンの取扱説明書をご確認ください)

お知らせ

- ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ (DDC2B) に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
- D-sub15 ピン端子の機種やMacintosh のパソコンを接続する場合には必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
※パソコンのミニD-sub15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。

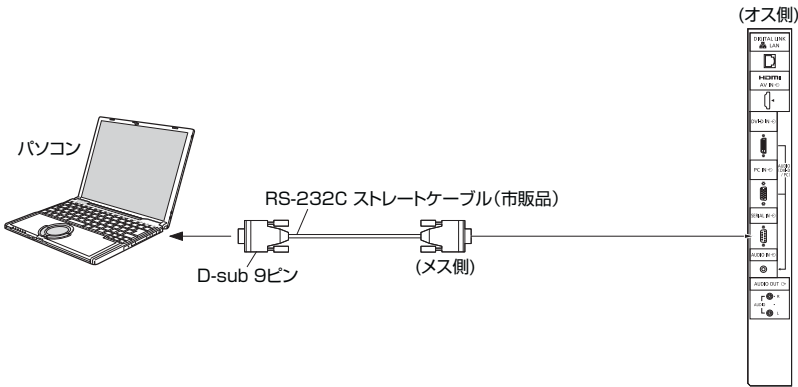
パソコン入力端子 (ミニD-sub15ピン) のピン配列と信号名



ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R	⑥	GND(アース)	⑪	NC(無接続)
②	G	⑦	GND(アース)	⑫	SDA
③	B	⑧	GND(アース)	⑬	HD / SYNC
④	NC(無接続)	⑨	+5 V DC	⑭	VD
⑤	GND(アース)	⑩	GND(アース)	⑮	SCL

SERIAL (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)

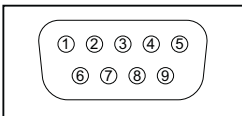
SERIAL (シリアル) 端子はRS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本体をパソコンで制御することができます。



お願い

- 本機をシリアル制御する場合は「ネットワーク設定」メニューの「制御端子選択」を必ず設定してください。本機のRS232C端子から制御する場合は、「RS-232C(本体)」、DIGITAL LINK機器のRS232C端子から制御する場合は、「RS-232C(DIGITAL LINK)」を選択してください。(P43ページ)
- SERIAL (シリアル) 端子とパソコンをつなぐ通信用RS-232Cストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

ピン配列と信号名



本体側
シリアル (SERIAL) 端子

SERIAL IN 端子

ピンNo.	信号名	内容
①	CD	NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④	DTR	データターミナルレディ
⑤	GND	グラウンド
⑥	DSR	データセットレディ
⑦	RTS] (本体側で短絡)
⑧	CTS	
⑨	RI	NC

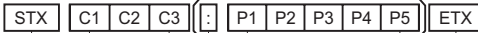
※ パソコン側の仕様で記載しています。

通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期 (非同期)
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



スタート コマンド3文字 コロン パラメーター エンド
(3 Byte) (1~5 Byte)

お願い

複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロン (:) は必要ありません。

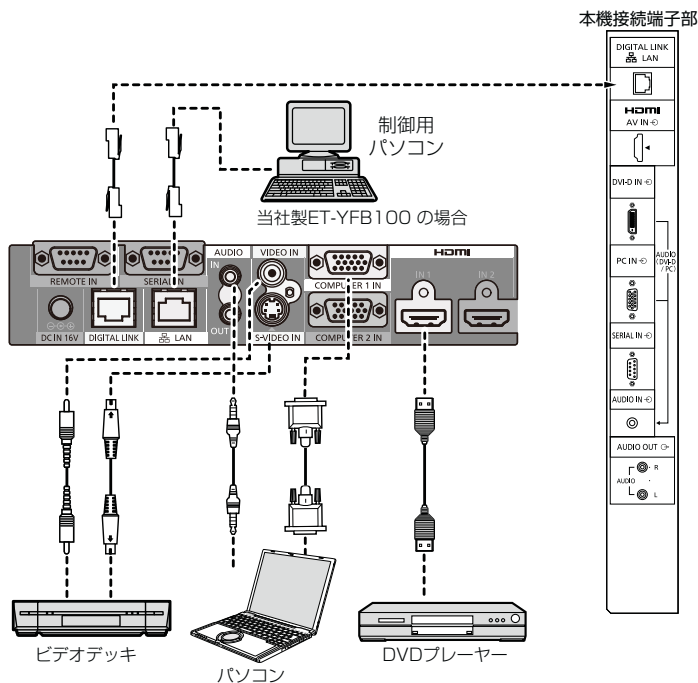
お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から「ER401」というコマンドがパソコン側に送信されます。
- 電源「スタンバイ」状態 (リモコンで電源「切」) 中は「PON」コマンド以外の動作は保証されません。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	***	音量 000 ~ 100
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IMS	なし	入力切換 (トグル)
	HM1	HDMI入力 (HDMI)
	DV1	DVI-D 入力 (DVI)
	PC1 DL1	PC 入力 (PC) DIGITAL LINK入力
DAM	なし	画面モード切換 (トグル)
	ZOOM	ズーム1
	FULL	フル
	NORM ZOM2	ノーマル ズーム2

DIGITAL LINK端子の接続例

当社製デジタルインターフェイスボックス (ET-YFB100) などのツイストペアケーブル伝送器は、入力された映像・音声信号などをツイストペアケーブルを使用して伝送するもので、本機はそのデジタル信号をDIGITAL LINK端子に入力することができます。



お知らせ

- DIGITAL LINK接続をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行ってください。(P. 43～45ページ)
- DIGITAL LINK端子との接続上の注意事項は、「ツイストペアケーブル伝送器との接続」をご覧ください。(P. 51ページ)

各部の基本説明

リモコン

電源

ディスプレイ本体の電源を入/切します。
([☞](#) 21ページ)

画質の調整 (PICTURE)

([☞](#) 31・32ページ)

画面位置/サイズ調整 (POS./SIZE)

([☞](#) 28・29ページ)

消音 (MUTE)

音声を一時的に消します。
([☞](#) 23ページ)

標準 (N)

映像や音声などの調整状態を標準
値に戻します。

決定 (■)

メニュー画面で項目を決定します。

上・下・左・右 (▲・▼・◀・▶)

メニュー画面で項目の選択や設定の
切り換え、レベルを調整します。

入力切換 (INPUT)

接続された機器の入力に
切り換えます。([☞](#) 22ページ)

ECOモード (eco)

ECOモードの設定状態を切り換えます。
([☞](#) 38ページ)

画面モード (ASPECT)

拡大画面を選択します。
([☞](#) 25・26ページ)

オフタイマー (OFF TIMER)

自動的に電源を切ります。
([☞](#) 23ページ)

自動位置補正 (AUTO SETUP)

画面の位置/サイズを自動補正し
ます。
([☞](#) 28ページ)

音声の調整 (SOUND)

([☞](#) 30ページ)

初期設定 (SET UP)

([☞](#) 33～45ページ)

音量 (VOL ▲)

音量を調整します。
([☞](#) 23ページ)

戻る (R)

映像、音声などの調整画面、各種
機能の設定画面を1つ前の状態に
戻します。

画面表示 (RECALL)

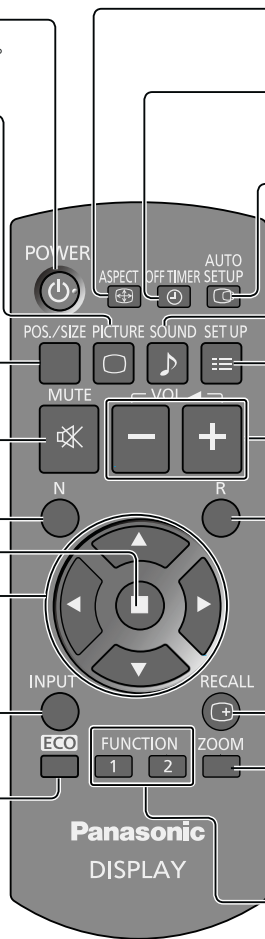
入力モード・画面モードなどの
各種設定状態を確認します。
([☞](#) 23ページ)

デジタルズーム (ZOOM)

デジタルズームモードにします。
([☞](#) 24ページ)

FUNCTIONボタン (FUNCTION)

([☞](#) 49ページ)

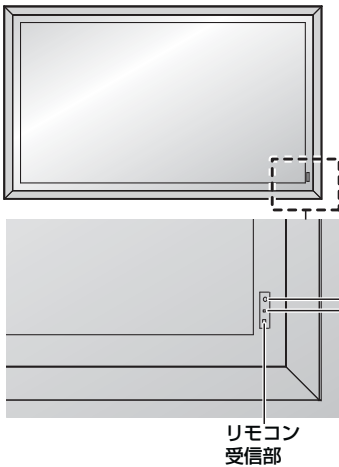


お願い

- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

ディスプレイ本体

前面



電源ランプ

ディスプレイ本体の電源「入」のとき

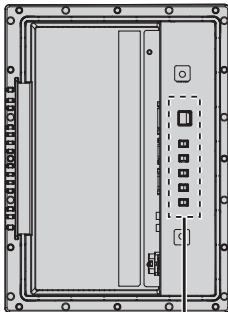
- 映像表示状態 緑色点灯
 - リモコンで「切」(スタンバイ状態) 赤色点灯
 - 制御端子選択が「LAN」または「RS-232C(DIGITAL LINK)」のとき (☞ 43ページ) 橙色点灯
 - アウトドアモードが「オン」のとき (☞ 41ページ) 橙色点灯
 - エアークリアーにほこりがたまっているとき (☞ 10ページ) 緑色と橙色が交互に点灯
 - PC/パワーマネジメントで電源「切」(DPMS機能) (☞ 38ページ) ... 橙色点灯
 - DVI-D/パワーマネジメントで電源「切」(☞ 38ページ) ... 橙色点灯
- ディスプレイ本体の電源「切」のとき 消灯
- 電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。

明るさセンサー (☞ 43ページ)
視聴環境の明るさを検知します。

リモコン
受信部

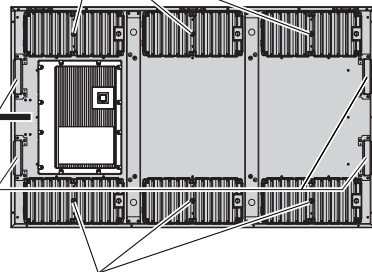
後面

外部入出力端子 (☞ 13ページ)
映像機器やパソコンなどを接続します。



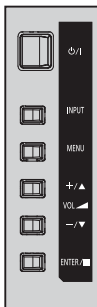
端子カバーを取り外す
(☞ 12ページ)

排気口 (エアークリアー、ファン)
(☞ 10ページ)



ハンドル

吸気口 (エアークリアー)
(☞ 10ページ)



電源 (ON/OFF) : 電源を「入」・「切」します。

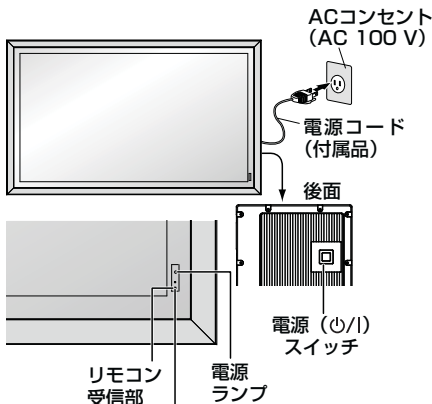
INPUT : 接続された機器を選択します。(☞ 22ページ)

MENU : メニュー画面を表示します。(☞ 27ページ)

VOL + / - : 音量を調整します。/メニュー画面で項目を選択したり、設定の切り換えやレベルを調整します。

ENTER / ■ : メニュー画面で項目を決定します。/ 拡大画面を選択します。

基本の操作



リモコン
有効操作距離
正面で
約7 m 以内



電源「入」時の警告メッセージ

本機の電源を「入」にしたとき、次のメッセージが表示される場合があります。

無操作自動オフ警告メッセージ

無操作自動オフ機能が有効です。

「初期設定」メニューの「無操作自動オフ」を「有効」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。(☞ 35ページ)

このメッセージ表示は、次のメニューで設定できます。「Options」メニュー

Power On Message (☞ 49ページ)

準備

電源プラグをコンセントへ接続します。
(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お願い ● 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

電源を入れる

本体の電源 (⏻/⏻) スイッチを押し電源を「入」にします。

電源ランプが緑色に点灯します。

● 本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

初めて電源を「入」にしたとき

次の画面がしばらく表示されます。リモコンで設定してください。本体のボタンでは設定できません。

お知らせ これらの画面は、一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。必要に応じて、次のメニューで設定してください。
表示言語切替 ☞ 35ページ
現在時刻設定 ☞ 40ページ
アウトドアモード設定 ☞ 41ページ

表示言語切換

- ① ご利用の言語を選択する。
- ② 決定する。



現在時刻設定

- ① 「曜日」または「現在時刻」を選択する。
- ② 設定する。

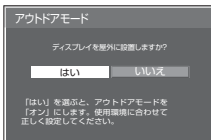


- ① 「設定」を選択する。
- ② 決定する。



アウトドアモード設定

- ① 「はい」または「いいえ」を選択する。
- ② 決定する。



● アウトドアモードについては41ページを参照してください。

本体右側面部




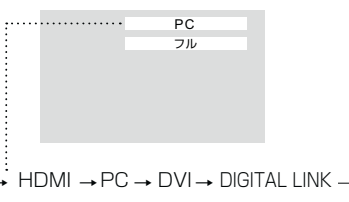
入力
切替



入力信号を切り換える

INPUT

○ または  INPUT を押して本機に入力された信号を選択します。押すごとに切り換わります。



HDMI : HDMI端子のHDMI入力

PC : PC IN端子のパソコン入力

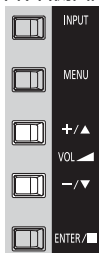
DVI : DVI-D IN端子のDVI-D入力

DIGITAL LINK : DIGITAL LINK端子のDIGITAL LINK入力

- 「入力表示書換設定」で設定した信号名を表示します。([p.37](#))
- 「Input lock」が「Off」以外の設定のときは入力は切り換わりません。([p.47](#))
- 静止画を長時間映すと、液晶パネルに映像の焼き付き（残像現象）が発生する場合があります。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能のご利用をおすすめします。([p.36・37](#))

基本の操作

本体右側面部



オフタイマー

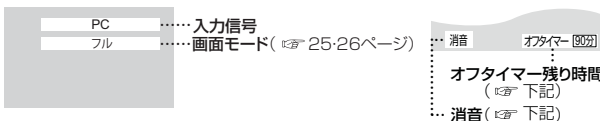


入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

RECALL

Ⓜ を押すと現在の入力信号と画面モードおよび現在時刻を約5秒間表示した後、オフタイマーと消音が発作中の場合はオフタイマーの残り時間を約3秒間、消音を約10秒間表示します。



- 選択している入りに映像信号がない場合は、最後に「無信号」が約30秒間表示されます。
- 時計表示をするには、現在時刻を設定し、「Clock Display」を「On」に設定してください。(40・49ページ)

音量を調整する

[-] または [+/-] または [VOL +/-] を押して音量を調整します。



- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。
- Maximum VOL level (最大音量設定) が「On」のときは、設定した音量まで上げると表示(数値)は赤色になり、設定した音量以上にはなりません。(47ページ)

消音を使う

一時的に音声を消したいときに使用します。

MUTE
消音 を押します。



画面に「消音」の表示が出て音が消えます。再度押すと解除されます。

- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。
- 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知らせします。

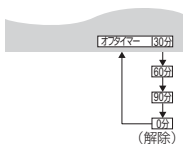
オフタイマー (OFF TIMER) を使う

タイマー設定 (30分、60分、90分) で自動的に電源を切ることができます。

OFF TIMER

Ⓜ を押すごとにタイマー設定時間が選択できます。

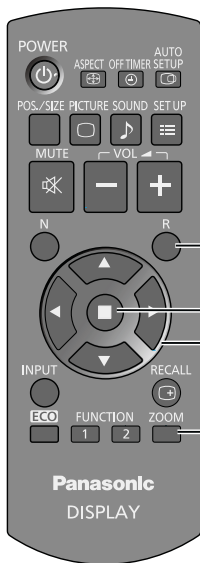
- タイマーが切れる3分前になると残り時間を点滅(赤色)表示した後、電源が切れます。



- オフタイマー残り時間を知りたいときは RECALL を押します。
- オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。

画面領域を拡大表示する（デジタルズーム）

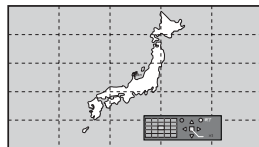
拡大したい画面領域（25領域）を選び、選んだ画像領域を2倍、3倍、4倍に拡大します。
（リモコンで操作してください。本体後面のボタンでは操作できません。）



1 デジタルズームモードにする

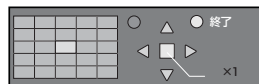
ZOOM
■ を押します。

画面のアスペクトは「フル」になり、デジタルズーム操作ガイドが表示されます。



2 拡大したい画像領域を選ぶ

▲▼▶ を押して選びます。

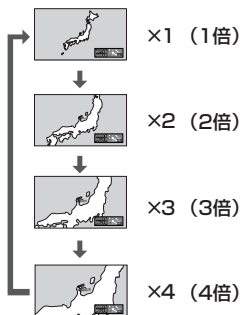


デジタルズーム操作ガイド

3 画面領域の拡大率を切り換える

■ を押すごとに、切り換わります。

- 画面の拡大率が「×1（1倍）」の場合に、約60秒間操作をしないと、終了します。
- 画面の拡大率が「×2（2倍）」、「×3（3倍）」、「×4（4倍）」の場合に、約3秒間操作をしないとデジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。
▲▼▶ のいずれかを押すと、再度表示します。



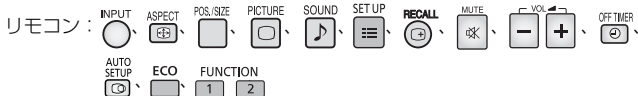
4 デジタルズームモードを終了する

○ を押すと、終了します。

画面はデジタルズームモードに入る前の状態になり、デジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

- 以下のボタンを押すと、終了します。

その後、押されたボタンの動作を行います。（AUTO SETUP を除く）



本体： INPUT, MENU, + / ▲, - / ▼, ENTER / ■

- スクリーンセーバーのタイマー起動でデジタルズームモードが終了します。
- 電源を「切」にした場合には、強制終了します。
 - ・ 本体の電源スイッチを「切」にしたとき
 - ・ オフタイマーやタイマー設定で電源が「切」になったとき
 - ・ 無信号自動オフやDPMS機能などで電源が「切」になったときなど

お知らせ

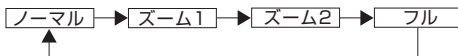
- 下記の場合は、デジタルズームモードにはなりません。
 - ・ 「マルチ画面設定」を拡大分割画面「オン」に設定しているとき
 - ・ スクリーンセーバー起動中のとき
- 拡大した映像は元の映像より粗い表示になります。

映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)

本体右側面部



ASPECT または ENTER/■ を押すごとに切り換わります。



お知らせ 画面モードは入力端子ごとに記憶します。

画面モード

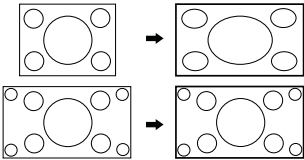
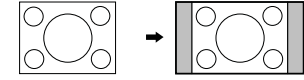
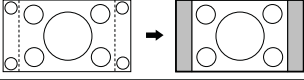
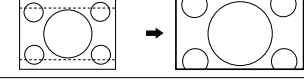
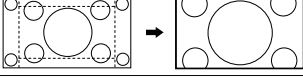


映像の横縦比 (アスペクト)

放送や映像ソフトにより画面の横と縦の比が異なります。

放送・映像ソフト	横縦比
<ul style="list-style-type: none"> 一部のデジタル放送 	
<ul style="list-style-type: none"> ハイビジョン放送 ワイドクリアビジョン放送 ピスタビジョンサイズ I ソフト (一部のデジタル放送) 	
<ul style="list-style-type: none"> ピスタビジョンサイズ II ソフト 	
<ul style="list-style-type: none"> シネマビジョンサイズソフト 	

■画面モード一覧

画面モード	映像 → 拡大画面	説明
フル		映像を画面いっぱいに表示します。SD信号の場合は4:3の映像を横方向に拡大します。4:3に縮小処理された16:9映像を横方向に拡大して表示します。
ノーマル		4:3映像をそのまま表示します。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
		16:9信号内の4:3映像をそのまま表示します。映像の両端はサイドパネルでマスクされます。
ズーム1		16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端はカットされます。
ズーム2		16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。

お知らせ

- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上の権利を侵害する恐れがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意ください。
- ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をズーム・フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

オンスクリーンメニューについて

リモコン

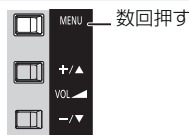
本体

1 メニュー画面を表示する

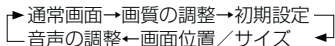


押して選ぶ

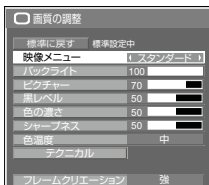
(例：画質の調整メニュー)



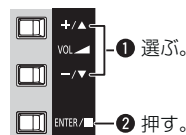
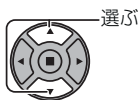
押すたびにメニュー画面が切り換わります。



2 設定項目を選択する



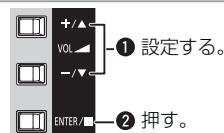
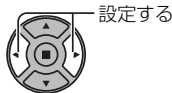
(例：画質の調整メニュー)



① 選ぶ。

② 押す。

3 設定する



① 設定する。

② 押す。

4 設定を終了する



押す



を押すと1つ前の画面に戻ります。

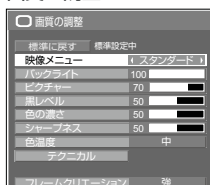


数回押す

メニュー画面一覧

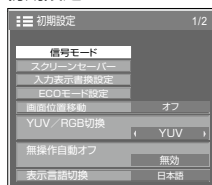
- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

画質の調整



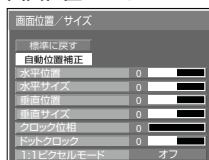
☞ 31・32ページ

初期設定



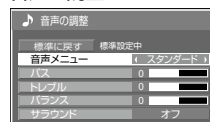
☞ 33～45ページ

画面位置/サイズ



☞ 28・29ページ

音声の調整

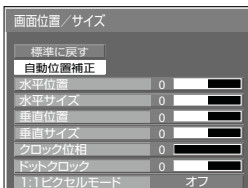


☞ 30ページ

画面位置 / サイズの調整 (POS./SIZE)

- 1 POS./SIZE を押して「画面位置/サイズ」メニュー画面を表示する。
- 2 方向キーを押して設定項目を選択する。
- 3 方向キーを押して設定をする。
- 4 POS./SIZE を押して設定を終了する。
R を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「画面位置/サイズ」メニュー画面



お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す

標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に **N** を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに **ENTER** を押すと表示されているメニューの調整値（「クロック位相」と「ドットクロック」を除く）が標準値に戻ります。

自動位置補正

パソコン信号入力時に「水平/垂直位置」、「水平/垂直サイズ」、「ドットクロック」、「クロック位相」を自動補正します。

本設定は、PC信号入力時で、画面モードが「フル」のときのみ動作します。

パソコン信号の映像を表示中に

「自動位置補正」を選び、**ENTER** を押す。

リモコンで操作する



を押すと自動位置補正が動作します。

自動位置補正が無効の場合は「無効操作」と表示します。



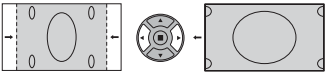
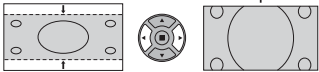
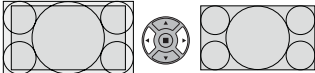
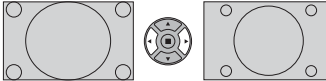
お知らせ

- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力して自動位置補正をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、自動位置補正をしてください。
- 信号によっては自動位置補正後にもズレが生じる場合がありますので、必要に応じて位置/サイズなどの微調整を行ってください。
- 垂直周波数60Hz XGA信号 (1024×768@60Hz、1366×768@60Hz) で自動位置補正が最適にならない場合、あらかじめ「XGAモード」(P.33ページ) で個別信号を選択設定しておく、適切に自動位置補正できる場合があります。
- 有効映像期間外に付加情報などの信号が重畳されている場合や同期信号と映像信号の時間間隔が短い場合、自動位置補正はうまく動作しません。

お願い


- 自動位置補正で適切な調整にならない場合は、一度「標準に戻す」を選び、**ENTER** を押した後、手動で位置/サイズなどの調整を行ってください。
- 自動位置補正を実行した結果、映像が水平方向にはみ出してしまう場合は、「ドットクロック」の調整を行ってください。


画面位置 / サイズの調整 (POS./SIZE)

水平位置	画面を左右に移動します。 	垂直位置	画面を上下に移動します。 
水平サイズ	画面を左右に拡大／縮小します。 	垂直サイズ	画面を上下に拡大／縮小します。 
クロック位相 (PC入力時)	パソコン信号を入力した場合に画面の輪郭に、にじみやぼけが発生することがあります。もっと見やすくなるよう調整してください。		
ドットクロック (PC入力時)	縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。		
オーバースキャン	画像のオーバースキャンをオン／オフします。 設定が可能な信号は以下の通りです。 525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p (DVI、HDMI)  <p>「オン」 「オフ」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 画面モード「フル」のときのみ「オフ」設定が有効になります。 ● 「オフ」に設定した場合は、水平サイズと垂直サイズは調整できません。 		
1:1ピクセルモード	1125iや1125pのとき、画面サイズを調整します。  <p>「オフ」 「オン」</p> <p>対応する入力信号</p> 1125 (1080) /50i、60i、24psF、24p、25p、30p、50p、60p <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 画面モード「フル」のときのみ「オン」設定が有効になります。 ● 映像の周囲にノイズ状のものが見えるときは「オフ」設定にしてください。 ● 「オン」に設定の場合は、水平サイズ、垂直サイズは調整できません。 		

お知らせ 調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。

音声の調整 (SOUND)

1  押して「音声の調整」メニュー画面を表示する。

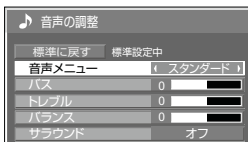
2  押して設定項目を選択する。

3  押して設定する。

4  押して設定を終了する。



 を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「音声の調整」メニュー画面



標準に戻す

 標準に戻す  標準設定中

メニュー表示中に  を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに  を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

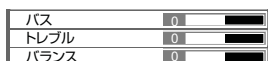
■ 音声メニュー

最適な音質を選びます。



……**標準**：送られてくるそのままの音で聞きます。
……**ダイナミック**：メリハリ感を強調した音で聞きます。
……**クリア**：人の声を聞きやすくした音で聞きます。

■ バス／トレブル／バランス



……**低音**を調節します。
……**高音**を調節します。
……**左右の音量**を調節します。


● **バス**、**トレブル**、**サラウンド**は「音声メニュー」の「標準」、「ダイナミック」、「クリア」ごとに記憶します。


■ サラウンド





……**オフ**：通常の音声。
オン：臨場感のある音声。

画質の調整 (PICTURE)

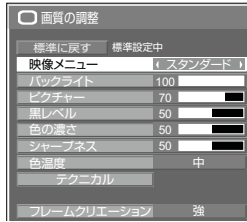
1  — 押して「画質の調整」メニュー画面を表示する。

2  — 押して設定項目を選択する。

3  — 押して設定する。

4  — 押して設定を終了する。
 を押すと1つ前の画面に戻ります。



●「画質の調整」メニュー画面



お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す(「フレームクリエーション」を除く)

 標準に戻す  標準設定中

メニュー表示中に  を押す、または「標準に戻す」を選んでいいるときに  を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

■ 映像メニュー

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。


 (標準)

……**標準**：標準的な明るさで使用する場合に適した画像になります。
ダイナミック：明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
シネマ：明るさを抑え、階調性を重視した画像になります。

■ バックライト

バックライトの明るさを調整します。

 100

暗く  明るく


お知らせ

- 「映像メニュー」は入力端子ごとに記憶します。
- 「バックライト」は、「ECOモード」が「カスタム」で、「消費電力低減設定」が「オフ」のときに調整できます。(P.38ページ)
- 「色の濃さ」は次の入力を選んだときに調整できません。
HDMI、DVI、DIGITAL LINK

■ ピクチャー

映像の明暗度を調整します。


 70

暗く  明るく

■ 黒レベル


画面の暗い部分(黒色)を調整します。

 50

暗く  明るく

■ 色の濃さ


 50

淡く  濃く

■ シャープネス

映像輪郭の鮮明度を調整します。

 50

ソフト  シャープ

■ 色温度

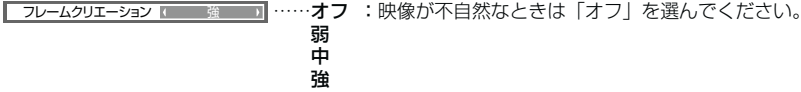
画面の色調を切り換えます。

 (中)

……**中**：中間の色温度になります。
低：赤みがかった色になります。
高：青みがかった色になります。

■ フレームクリエーション

映像の表示コマ数を2倍にして動きの速いシーンをよりきれいに見せる機能です。

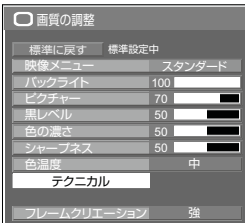


お知らせ

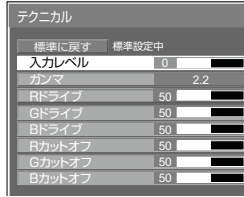
- 設定は、入力端子ごとに記憶しています。
- 「標準に戻す」を選んでも標準の設定には戻りません。
- オフに変更した場合とオフから他の設定に変更した場合に映像とメニューが一瞬消えます。

テクニカル調整

お好みにより、さらにきめ細かな調整を行うことができます。



● 「テクニカル」サブメニュー画面





お知らせ

調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。






標準に戻す



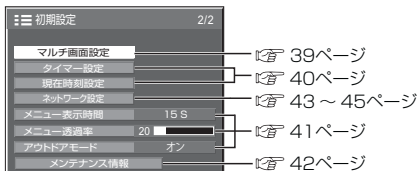
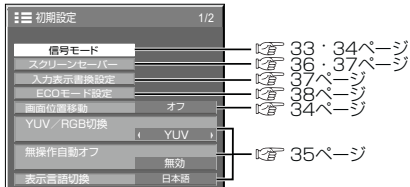
メニュー表示中に  を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに  を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

調整項目	調整範囲	調整内容
入力レベル	-16 (レベル低) ~ 16 (レベル高)	特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。
ガンマ	Sカーブ 2.0 2.2 2.6	明るさを調整します。
Rドライブ	0 (色温度高) ~ 100 (色温度低)	赤色の明るい部分の強弱を調整します。
Gドライブ	0 ~ 100	緑色の明るい部分の強弱を調整します。
Bドライブ	0 (色温度低) ~ 100 (色温度高)	青色の明るい部分の強弱を調整します。
Rカットオフ	0 (色温度高) ~ 100 (色温度低)	赤色の暗い部分の強弱を調整します。
Gカットオフ	0 ~ 100	緑色の暗い部分の強弱を調整します。
Bカットオフ	0 (色温度低) ~ 100 (色温度高)	青色の暗い部分の強弱を調整します。

初期設定 (SET UP)

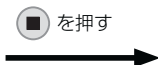
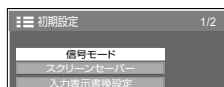
- 1 を押して「初期設定」メニュー画面を表示する。
- 2 を押して設定項目を選択する。
- 3 を押して設定する。
- 4 を押して設定を終了する。
を押すと1つ前の画面に戻ります。

● 初期設定メニュー画面

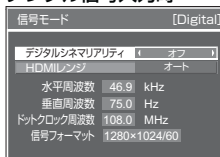


信号モード

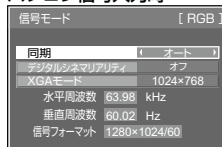
● 「信号モード」サブメニュー画面



デジタル信号入力時



パソコン信号入力時

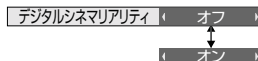


■ デジタルシネマリアリティ

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。

※ 通常は「オフ」に設定してください。

- お知らせ**
- デジタルシネマリアリティを「オン」にすると、映画など、毎秒24コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。
 - 「オン」で不自然な映像になる場合は「オフ」でご覧ください。



■ XGAモード

本メニューは、アナログ信号（PC）入力時に表示されます。

画角/サンプリングが異なる2種類の垂直周波数60Hz XGA信号（1024×768@60Hz、1366×768@60Hz）を設定します。

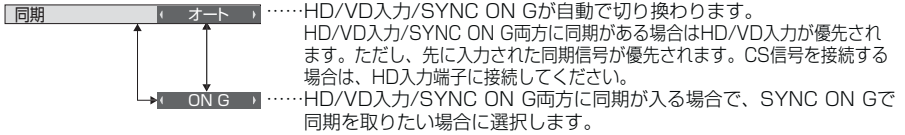
1280×768@60Hzの入力信号を自動判別した場合は、本設定にかかわらず入力信号を1280×768@60HzのXGA信号として画像処理します。



- お知らせ**
- 本設定を行った後は、必要に応じて「画面位置/サイズ」メニューの各調整（「自動位置補正」など）を行ってください。（⇄28・29ページ）

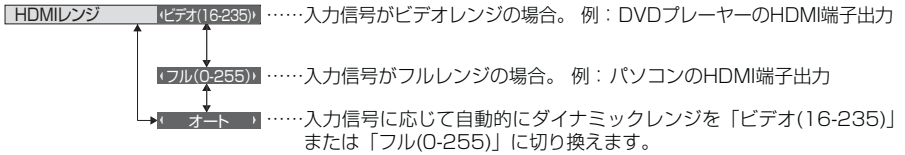
■ 同期

本機能はPC IN入力時に動作します。



■ HDMIレンジ

HDMI端子の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。



お知らせ 本機能は、HDMI信号とDIGITAL LINK信号に設定できます。

■ 入力信号表示 (パソコン、デジタル信号入力時)

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

水平周波数	63.98 kHz	……表示範囲：水平走査周波数 (15 kHz ~ 110 kHz) 垂直走査周波数 (48 Hz ~ 120 Hz)
垂直周波数	60.02 Hz	
信号フォーマット	1280×1024/60	

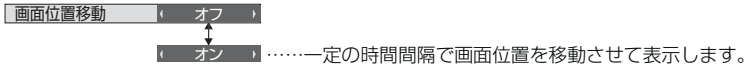
デジタル信号入力時には、ドットクロック周波数を表示します。

水平周波数	46.9 kHz
垂直周波数	75.0 Hz
ドットクロック周波数	108.0 MHz
信号フォーマット	1280×1024/60

お知らせ 自動判別した信号フォーマットが、実入力信号と異なった表示になる場合があります。

画面位置移動

ディスプレイパネルの焼き付き軽減のため、画面位置を移動させて表示します。



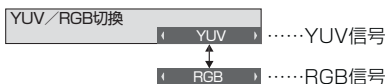
お知らせ

- マルチ画面設定を「オン」に設定の場合は、画面位置移動は動作しません (P.39ページ)。
- 画面の設定状態により、画面の一部で欠けて見える場合があります。

初期設定 (SET UP)

YUV / RGB切換

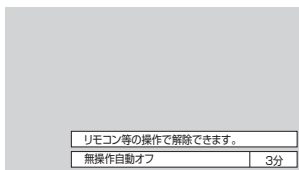
本メニューは、DVI信号入力時 (DVI-D IN端子) に表示されます。DVI入力信号の方式に合わせて設定します。



無操作自動オフ

「有効」にすると、本機を約4時間以上操作しないとき、自動的に電源が切れます (スタンバイ)。

電源が切れる3分前から、切れるまでの残り時間を表示します。

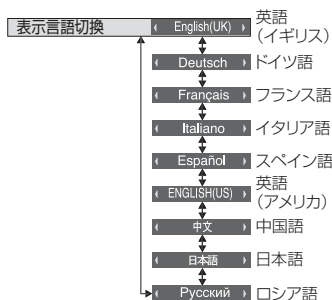


本機能が働いて電源が切れた場合、次回電源を入れたときに「無操作自動オフが働きました。」と表示します。

お知らせ スクリーンセーバー動作中は、本機能は動作しません。

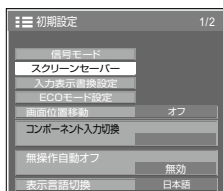
表示言語切換

選択された言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などを表示します。

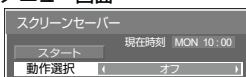


スクリーンセーバー

静止画や4：3表示画像を長時間映す場合に残像（焼き付き現象）の発生を軽減します。



●「スクリーンセーバー」サブメニュー画面




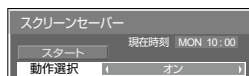
スクリーンセーバーの設定

■スクリーンセーバーの動作

スクリーンセーバー動作中は、次の5パターンを全画面に5秒毎に順次表示し、それを繰り返します。
黒→濃い灰色→灰色→薄い灰色→白色

■今すぐスクリーンセーバーをスタートする

- ①「動作選択」で「オン」を選ぶ。
- ②「スタート」を選んで  を押す。
スクリーンセーバーが開始します。



お知らせ ●スクリーンセーバー動作中に以下のボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。

リモコン： 本体： MENU、 INPUT、 + / ▲、 - / ▼、 ENTER ■

●ディスプレイの電源を「切」にすると、スクリーンセーバーは解除されます。

■一定の周期ごとにスクリーンセーバーをオン／オフする

- ①「動作選択」で「周期指定」を選ぶ。
- ②「周期時間」を設定する。



押すたびに15分ずつ変わります。

- ③「動作時間」を設定する。



一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

お知らせ 動作時間は周期時間より長い時間には設定できません。



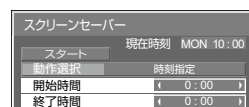
■指定した時刻にスクリーンセーバーをオン／オフする

- ①「動作選択」で「時刻指定」を選択する。
- ②「開始時間」と「終了時間」を設定する。



一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

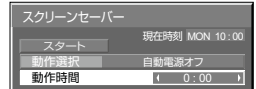
お知らせ 現在時刻を設定してから、開始時間と終了時間を設定してください。(P.40ページ)




初期設定 (SET UP)

■ スクリーンセーバーの後に電源を切る

- ① 「動作選択」で「自動電源オフ」を選択する。
- ② 「動作時間」を設定する。



一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

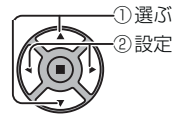
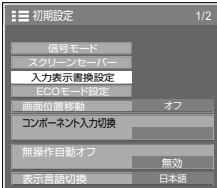
- ③ 「スタート」を選んで  を押す。
スクリーンセーバーが開始し、設定時間後に電源が「切」(スタンバイ)になります。

お知らせ 「動作時間」は0:00～23:59まで設定できます。「0:00」に設定したとき、「自動電源オフ」は動作しません。

入力表示書換設定

入力端子に接続した機器に合わせて表示名を変更します。

入力端子を選び、信号名を設定する。



入力端子

[PC]

[DVI]

[HDMI]

[DIGITAL LINK]


表示名

PC / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

DVI / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

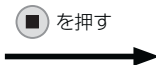
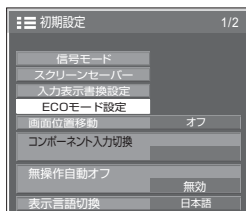
HDMI / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

DIGITAL LINK / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

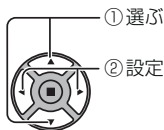
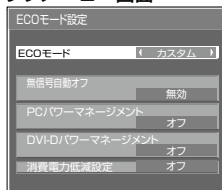
(スキップ) :  を押したときに入力を飛び越して表示します。

ECOモード設定

消費電力を低減するための各種設定を行います。



●「ECOモード設定」サブメニュー画面



■ ECOモード

- ECOモード (カスタム) ……消費電力低減のメニューを個別に設定します。
 - ECOモード (オン) ……消費電力低減のメニューを次の固定値に設定します。個別に設定はできません。
- 無信号自動オフ：有効
PC/パワーマネージメント：オン
DVI-D/パワーマネージメント：オン
消費電力低減設定：センサー

リモコンで操作する



を押すと「ECOモード」が切り換わります。

ECOモード オン

■ カスタム設定

消費電力低減のメニューを個別に設定します。「ECOモード」が「カスタム」のとき、設定が有効になります。

無信号自動オフ

「有効」にすると、約10分間入力同期信号が無いと自動的に電源が切れます。

PC/パワーマネージメント (DPMS機能)

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

PC入力時に約30秒間、映像が検知されないとき

→電源「切」(スタンバイ) 電源ランプ：橙色点灯

その後、映像が検知されると

→電源「入」 電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

- PC IN入力時のみ動作します。
- 「信号モード」の「同期」が「オート」のときのみ動作します。(P.34ページ)

DVI-D/パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

DVI入力時に約30秒間、映像 (HD/VD同期信号) が検知されないとき

→電源「切」(スタンバイ) 電源ランプ：橙色点灯

その後、映像 (HD/VD同期信号) が検知されると

→電源「入」 電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

- DVI入力時のみ動作します。

消費電力低減設定

バックライトの明るさを調節して消費電力を低減します。

オフ：本機能は動作しません。

オン：バックライトの明るさを下げます。

センサー：視聴環境に応じてバックライトの明るさを自動調節します。

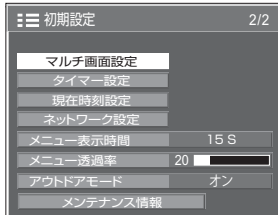
お知らせ

- 「オン」または「センサー」に設定した場合、「画質の調整」メニューの「バックライト」の設定は無効になります。

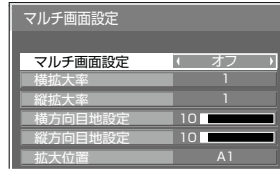
初期設定 (SET UP)

マルチ画面設定

横方向に1～5台と縦方向に1～5台を並べたディスプレイを1つのグループとして、拡大した映像を映します。



● 「マルチ画面設定」サブメニュー画面



- お知らせ**
- マルチ画面設定「オフ」時に画面位置／サイズ調整 (p.28・29ページ) で、同一画角に調整後、マルチ画面設定を「オン」にして再度、画面位置／サイズで画角を微調整してください。
 - 画面位置／サイズ調整機能は、マルチ画面の状態では調整できません。

■ マルチ画面設定

マルチ画面設定 (オフ) …… 拡大分割画面にしない。

↑
マルチ画面設定 (オン) …… 拡大分割画面にする。

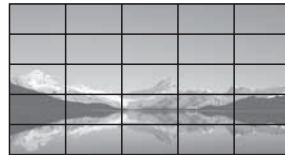
「オン」のときは、画面のアスペクトは「フル」になります。

■ 横拡大率

マルチ画面表示の横方向の拡大率を設定します。

横拡大率 (1) …… 1～5

例) 横拡大率「5」と縦拡大率「5」に設定のマルチ画面



■ 縦拡大率

マルチ画面表示の縦方向の拡大率を設定します。

縦拡大率 (1) …… 1～5

■ 横方向目地設定・縦方向目地設定

目地部分に隠れる映像の領域を、縦方向と横方向でそれぞれ調整します。

横方向目地設定 10 …… 0～100

縦方向目地設定 10 …… 0～100

表示例)

設定値0



目地部分を含むすべての映像を表示します。
(パソコンなどで文字情報を表示する場合に適しています)

設定値100



目地部分の映像を表示しません。
(動画など動きのある映像を表示する場合に適しています)

■ 拡大位置

マルチ画面の画面位置を割り当てます。

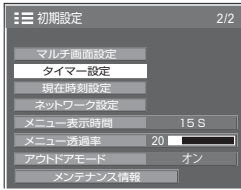
例) 横拡大率「5」、縦拡大率「5」の場合

A1	A2	A3	A4	A5
B1	B2	B3	B4	B5
C1	C2	C3	C4	C5
D1	D2	D3	D4	D5
E1	E2	E3	E4	E5

拡大位置 (A1) …… A1～A5、B1～B5、C1～C5、D1～D5、E1～E5から選ぶ。
● 「横拡大率」「縦拡大率」の設定により、設定の表示内容は変わります。

タイマー設定

指定した時刻に、電源を入/切したり映像入力を切換えるプログラムを設定します。プログラムは20通り設定できます。



- お知らせ**
- 「現在時刻設定」が設定されていないと本機能は設定できません。
 - 同じ時刻に複数のプログラムが設定されている場合、プログラム番号の最も小さいものが有効になります。

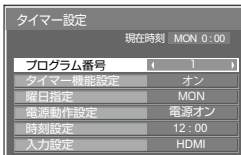
↓ を押す

●「タイマー設定」サブメニュー画面

[設定例]

プログラム1 毎週月曜日 12:00

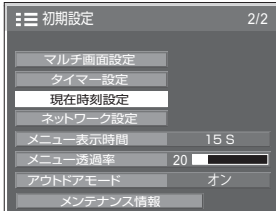
電源入 入力：HDMI



- ①プログラム番号を設定する。
 - ②プログラムを実行する場合は「オン」に設定する。
 - ③曜日を設定する。
「Everyday」に設定すると、プログラムを毎日実行します。
 - ④電源の入/切を設定する。
 - ⑤時刻を設定する。
一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。
 - ⑥入力を設定する。
-

現在時刻設定

曜日と現在時刻を設定します。「99:99」と表示されている場合は、未設定となっています。



を押す

●「現在時刻設定」サブメニュー画面



■ 曜日と現在時刻を設定する

- ①「曜日」または「現在時刻」を選ぶ。
- ②「曜日」または「現在時刻」を設定する。
一度押すと、現在時刻は1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。



- ③「設定」を選んで を押す。

お知らせ

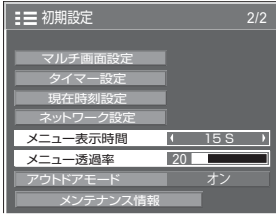
- 現在時刻を設定しないとタイマー設定やスクリーンセーバーなどの時間設定はできません。
- 曜日および現在時刻の設定は、下記の場合にリセットされます。
 - ・本体の電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いたり、停電などで約7日間放置したとき。
- 現在時刻を「99:99」以外に設定しないと、曜日と現在時刻の設定はできません。



初期設定 (SET UP)

メニュー表示時間・メニュー透過率

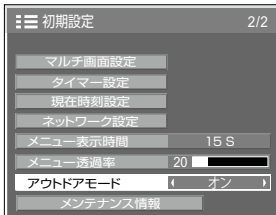
オンスクリーンメニューの表示時間と背景の透過率を設定します。



……5 ~ 120 S
……0 ~ 100

アウトドアモード

本機を高温または低温環境で使用するとき、本機の品質を維持するために設定します。



オフ：通常のスタンバイ動作をします。

オン：ディスプレイ本体の内部温度が低温になった場合、

- 1) スタンバイ時に、バックライトを点灯して温度低下を防止します。
- 2) 受像中、Local Dimming機能の設定がOnでも、Offと同様の動作になります。
Local Dimming (ローカルディミング) [p.47ページ](#)

本機能を「オン」に設定すると、スタンバイにしたときに、下のメッセージが表示されます。

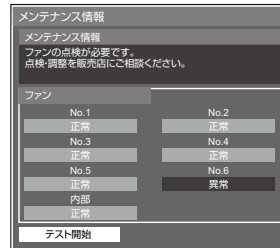
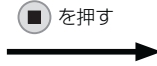
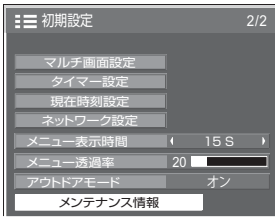
アウトドアモードが有効です。

お知らせ

- 本機能を「オン」に設定して使用している間は、電源コードをコンセントから抜かないでください。
- 本機能を「オン」に設定して使用している間は、スタンバイ時の消費電力が40 W程度になります。
- 本機能を「オン」に設定して使用している間は、スタンバイ時でもファンが回転します。
- 直接日光が当たる場所に設置する際は、本機能を「オン」に設定してください。

メンテナンス情報

ファンとエアフィルターに関するメンテナンス情報を表示します。




■ メンテナンス情報

エアフィルターの状態やファンの動作状態、点検のお知らせに関するメッセージが表示されます。

「フィルターを清掃して、テストを開始してください。」と表示された場合は、エアフィルターを取り外して掃除してください。(P.10ページ)

掃除しても短期間で「フィルターを清掃して、テストを開始してください。」と表示される場合はお買い上げ販売店にご相談ください。

「点検・調整を販売店にご相談ください。」と表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

- エアフィルターを掃除した後は  を押して状態テストを再度実行し、メンテナンス情報を確認してください。

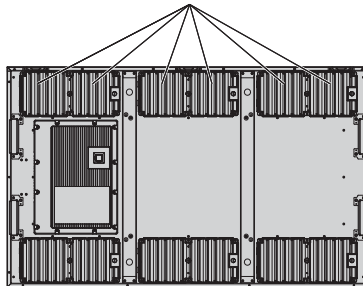
■ ファン

各ファンの状態を表示します。

「異常」と表示された場合はファンの点検をお買い上げ販売店にご相談ください。

お知らせ 各ファンは背面から見て右側のものから順に「No.1」～「No.6」と表示されます。本機内部にある内部循環ファンは「内部」と表示されます。

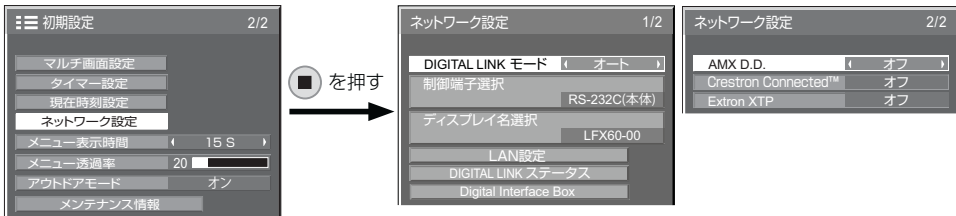
右から「No.1」～「No.6」



初期設定 (SET UP)

ネットワーク設定

ネットワーク機能を使用するための各種設定を行います。



■ DIGITAL LINKモード

DIGITAL LINKの通信方法を切り換えます。

オート : 通信方法が自動で選択されます。
HDMI/LAN/RS232C 通信が可能です。

DIGITAL LINK : ツイストペアケーブル伝送器経由で行うHDMI/LAN/RS232C 通信が可能です。

イーサネット : 本機のLAN端子経由で行うLAN通信が可能です。

お知らせ ●「イーサネット」を選択する場合は「制御端子選択」を「LAN」に設定してください。

■ 制御端子選択

RS-232C(本体) : 本機のRS232Cで制御します。

LAN : 本機もしくはツイストペアケーブル伝送器のLAN端子で制御します。

RS-232C(DIGITAL LINK) : ツイストペアケーブル伝送器のRS232Cで制御します。

お知らせ ●「LAN」または「RS-232C(DIGITAL LINK)」に設定すると、リモコンで電源を「切」にしたとき(スタンバイ)、電源ランプが橙色点灯します

- 17ページのRS232Cコマンドを本機のRS232C端子から制御する場合は、「RS-232C(本体)」、DIGITAL LINK機器のRS232C端子から制御する場合は、「RS-232C(DIGITAL LINK)」を選択してください。
- 52～57ページの方法で制御する場合は、「LAN」を選択してください。

■ ディスプレイ名選択

ネットワーク上で、表示される本機の名前を変更することができます。

■ LAN設定

☞ 44ページ

■ DIGITAL LINKステータス

☞ 45ページ

■ Digital Interface Box

☞ 45ページ

■ AMX D.D.

この機能をオンに設定すると、AMX デバイスディスカバリーによる検知を有効にすることができます。詳細は下記のWEB サイトを参照してください。
<http://www.amx.com/>

■ Crestron Connected™

この機能をオンに設定すると、Crestron Electronics, Inc. 製の機器やアプリケーションソフトを使用して、ネットワーク経由で本機の監視や制御を行うことができます。

本機はCrestron Electronics, Inc. 社の下記アプリケーションソフトに対応しています。

- RoomView® Express
- Fusion RV®
- RoomView® Server Edition

[Crestron Connected™]は、ネットワークに接続された複数の様々な機器を、管理・制御するCrestron Electronics, Inc. 製のシステムに接続できる機能です。

- [Crestron Connected™]の詳細については、Crestron Electronics, Inc. のWEB サイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)
<http://www.crestron.com/>
また、「RoomView® Express」のダウンロードは、Crestron Electronics, Inc. のWEB サイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)
<http://www.crestron.com/getroomview>

■ Extron XTP

Extron社製の「XTPトランスミッター」をDIGITAL LINK端子に接続するときにオンに設定します。Extronについての情報は、下記のWEB サイトを参照してください。


<http://www.extron.co.jp/>

LAN設定

本機のLAN端子またはツイストペアケーブル伝送器経由で行うLANについての詳細なネットワーク設定ができます。

「LAN設定」を選んで
 を押す

↓



LAN設定	
保存	
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168. 0. 8
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 0. 1
ポート	1024
通信方式	オート
ネットワークID	0
MACアドレス	----

DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定

- DHCPを設定する。
「オフ」を選ぶとIPアドレス他を手動で設定できます。
- 設定項目を選んで を押す。
- アドレスを入力する。
IPアドレス
 - で桁を選ぶ
 - ▲▼で数字を変更する
 - を押す。

R を押すとアドレスの変更をキャンセルします。
- 「保存」を選んで を押す。

ポートの設定

- 「ポート」を選んで を押す。
- ポート番号を入力する。
ポート
 - で桁を選ぶ
 - ▲▼で数字を変更する
 - を押す。

R を押すとポート番号の変更をキャンセルします。

保存

現在のネットワーク設定を保存します。DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの各設定値が保存されます。

「NG」と表示された場合、同じネットワーク内で同一のIPアドレスが使用されていないかご確認ください。

DHCP (DHCPクライアント機能)

DHCPサーバーを利用し自動的にIPアドレスを取得する場合は「オン」にします。DHCPサーバーを利用しない場合は「オフ」にします。

IPアドレス (IPアドレスの表示および設定)

DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。

サブネットマスク (サブネットマスクの表示および設定)

DHCPサーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。

ゲートウェイ (ゲートウェイアドレスの表示および設定)

DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

ポート

コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。設定できる範囲は1024～65535です。PJLink™プロトコルを使用する場合は、ポートの設定は必要ありません。

通信方式

パソコンやハブとの通信方式を設定します。

オート：通信方式が自動で設定されます。

100BaseT全二重：全二重通信方式が設定されます。

100BaseT半二重：半二重通信方式が設定されます。

ネットワークID

本機を識別するIDを設定します。

設定できる範囲は0～99です。

MACアドレス

本機のMACアドレスを表示します。ただし、「制御端子選択」が「RS-232C(本体)」または「RS-232C(DIGITAL LINK)」のときは、MACアドレスは表示されません。



お知らせ

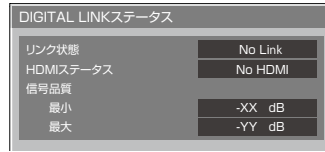
- DHCPサーバーを利用する場合、DHCPサーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- 詳しい設定内容については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

初期設定 (SET UP)

■ DIGITAL LINKステータス

DIGITAL LINKの接続環境を表示します。

「DIGITAL LINKステータス」を選んで  を押す 



リンク状態 : 「No link」、 「DIGITAL LINK」、 「イーサネット」 のいずれかが表示されます。

No link : LAN接続無しなど

DIGITAL LINK : DIGITAL LINK機器とLAN接続中

イーサネット : 本機DIGITAL LINK端子にパソコンを接続してLAN接続中

HDMIステータス : 「No HDMI」、 「HDMI ON」、 「HDCP ON」 のいずれかが表示されます。

No HDMI : DIGITAL LINK非接続中

HDMI ON : DIGITAL LINK接続中

HDCP ON : HDCP有りの信号がDIGITAL LINK接続で流れています。

信号品質 : エラー発生量の最小値と最大値を数値化したもので、その数値によって表示色が赤/黄/緑に変わります。

LANケーブルが断線している、ケーブルがシールドされていない場合などは黄色または赤色の数値となります。この信号品質は接続されたツイストペアケーブル伝送器とディスプレイとの間のものを表しています。

信号品質	表示色	受信状態
-12dB以下	緑色	正常に受信しています
-11 ~ -8dB	黄色	受信データの一部分が破損しています
-7dB以上	赤色	受信異常です

■ Digital Interface Box

「Digital Interface Box」を選んで  を押すとデジタルインターフェースボックスの設定メニューに切り換わります。

お知らせ この機能は、当社製のデジタルインターフェースボックス (ET-YFB100) がLAN 端子に接続されていて、その電源が入っている時のみ選択することができます。


オプション (Options) メニュー

本機は設置場所や用途に合わせて使用される場合に便利な特殊機能を備えています。

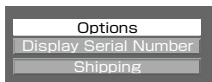
1  押して「初期設定」メニュー画面を表示する。


2  ① 押して「表示言語切換」を選択する。

② 3秒以上押す


3  ① 押して「Options」を選択する。

② 押して「Options」メニューを表示する。



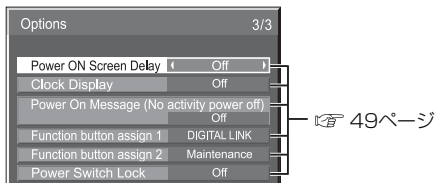
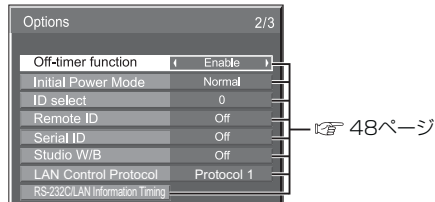
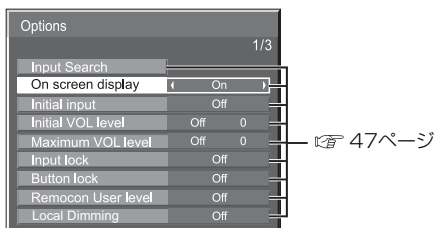
4  ① 押して設定項目を選択する。

② 押して設定する。

「Input Search」または「RS-232C/LAN Information Timing」を選び、 を押すと設定画面になります。(☞ 47・48ページ)

5  押して設定を終了する。

● Optionsメニュー画面



お知らせ ● 「オプション (Options)」メニューの操作はすべてリモコンで行います。本体の操作ボタンではできません。

●  を押すと1つ前の画面に戻ります。

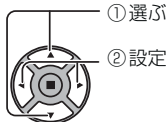
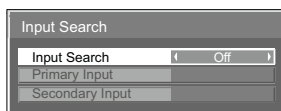
● オプションメニューの言語は英語表示のみです。

● 手順3で「Display Serial Number」を選択すると本機のシリアル番号を表示します。

オプション (Options) メニュー

Input Search (無信号時自動入力切換)

無信号になったとき、信号のある他の入力に自動で切り換えます。



Input Search

- 設定値** Off：無信号時、入力の自動切り換えをしません。
All Inputs：全入力をサーチして、信号のある入力に切り換えます。
Priority：「Primary Input」と「Secondary Input」を順にサーチして、信号のある入力に切り換えます。



入力サーチ中は「サーチ中」と表示します。
Primary Input、Secondary Input「Priority」のときにサーチする入力を設定します。

設定値 (NONE)、PC、DVI、HDMI、DIGITAL LINK

お知らせ

「Input lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。

On screen display (オンスクリーン表示)

電源オン表示、入力切換表示、無信号表示、メニュー画面表示後の消音表示、を押した後の消音とオフタイマー残り時間表示、オフタイマー3分前の残時間表示を行わなくすることができます。

設定値 On：表示にします。
Off：非表示にします。

Initial input (スタート入力設定)

電源「入」時の入力を設定します。

設定値 Off、PC、DVI、HDMI、DIGITAL LINK

お知らせ

「Input lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。

Initial VOL level (スタート音量設定)

電源「入」時の音量を設定します。

設定値 Off：通常の音量になります。
On：設定した音量になります。

(メニューの「Initial VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します)

■音量の設定

を押して音量を調整します。

お知らせ

「Maximum VOL level」が「On」のときは「Maximum VOL level」で設定した音量以上には設定できません。(☞ 下記参照)

Maximum VOL level (最大音量設定)

音量を設定以上に大きくならないようにします。

設定値 Off：通常の音量になります。
On：設定した音量になります。

(メニューの「Maximum VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します)

■音量の設定

を押して音量を調整します。

お知らせ

「Maximum VOL level」を「Off」から「On」にしたとき、「Maximum VOL level」で設定した音量が「Initial VOL level」の設定した音量以下では強制的に「Initial VOL level」で設定した音量は「Maximum VOL level」で設定した音量になります。

Input lock (入力切換固定)

入力を固定して「入力切換」操作をできなくします。

設定値 Off、PC、DVI、HDMI、DIGITAL LINK

お知らせ

「Off」以外に設定すると、すぐに入力切換操作ができなくなります。

Button lock (ボタン操作制限)

本体後面のボタン操作を制限します。

設定値 Off：ボタン操作を制限しません。
On：電源スイッチを除くすべてのボタン操作はできません。

MENU & ENTER： MENU と ENTER 操作はできません。

Button lockは、次の手順で本体のボタンを操作して設定できます。

Off： - /▼ を4回押す→ INPUT を4回押す→ - /▼ を4回押す→ ENTER を押す

MENU & ENTER：

ENTER を4回押す→ + /▲ を4回押す→ INPUT を4回押す→ ENTER を押す

On： - /▼ を4回押す→ ENTER を4回押す→ + /▲ を4回押す→ ENTER を押す

Remocon User level (リモコン操作制限)

リモコンのボタン操作を制限します。

設定値 Off：ボタン操作を制限しません。

User1： POWER、 INPUT、 RECALL、 MUTE、 OK、 MUTE、 以外のボタン操作はできません。

User2： POWER 以外のボタン操作はできません。

User3：すべてのボタン操作はできません。

Local Dimming (ローカルディミング)

LEDバックライト発光量を部分的に制御することによりコントラストを高める機能です。同一画面内の異なるエリアのコントラスト比を大幅に高めることができます。

設定値 Off：ローカルディミング機能を無効にします。
On：ローカルディミング機能を有効にします。

Off-timer function (オフタイマー機能)

オフタイマー機能を有効/無効の設定をします。

設定値 Enable : オフタイマー機能を有効にします。
Disable : オフタイマー機能を無効にします。

お知らせ

オフタイマー設定時は「Disable」にするとオフタイマーが解除されます。

Initial Power Mode (電源復帰モード)

電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときの本体の電源状態を設定します。

設定値 Normal : 電源が切れる前の状態で復帰します。
On : 電源「入」の状態復帰します(電源ランプ: 緑色点灯)。
Standby : 電源「スタンバイ」の状態復帰します(電源ランプ: 赤色/橙色点灯)。

お知らせ

本機を複数台設置されている場合は、電源が復帰したときの負担を軽減するために「Standby」に設定されることをおすすめします。

ID select (ID番号選択)

「Remote ID」「Serial ID」でディスプレイ本体(パネル)の制御を行うときのID番号(パネル番号)を設定します。

設定値 ID select : 設定値 : 0 ~ 100。(標準値 : 0)

お知らせ

IDリモコン機能を使い「0」に設定の場合は、リモコンのID番号と一致しなくても操作できます。

Remote ID (リモコンID)

IDリモコン機能を有効/無効の設定をします。

設定値 Off : IDリモコン機能を無効にします。(通常のリモコンとして操作ができます)
On : IDリモコン機能を有効にします。
「On」に切り換えと同時に有効になります。

お知らせ

IDリモコン機能を使うときは、リモコンのID番号とディスプレイ本体のID番号の設定が必要です。リモコンのID番号の設定は(☞ 58ページ)、ディスプレイ本体のID番号は上記(ID select)をご覧ください。

Serial ID (シリアルID)

SERIAL (シリアル) 端子に接続したパソコンからの外部制御時の、ディスプレイのID番号(パネルID)による制御の有効/無効を設定します。

設定値 Off : IDによる外部制御を無効にします。
On : IDによる外部制御を有効にします。

Studio W/B (スタジオW/B)

スタジオW/Bの設定をします。

設定値 Off : 設定が無効になります。
On : テレビスタジオ用の色温度にします。

お知らせ

「画質の調整」の「色温度」が「低」のときに有効になります。

LAN Control Protocol (LAN制御プロトコル)

LAN制御のプロトコルを選択します。

設定値 Protocol 1 : Panasonicディスプレイのシーケンスで制御します。
Protocol 2 : Panasonicプロジェクターと互換性のあるシーケンスで制御します。

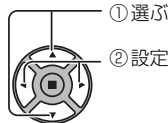
RS-232C/LAN Information Timing (情報通知タイミング)

無信号時の警告・エラーや周囲温度の上昇をお知らせする機能を設定します。

RS232C制御時: 警告・エラー情報を本機から自動で発信します。

LAN制御時: 警告・エラー情報を本機から取得できます。

No Signal Warning	On
No Signal Warning Timing	5min
No Signal Error	On
No Signal Error Timing	10min
Temperature Warning	On
Temperature Warning Value	55°C
Temperature Warning Release Value	52°C



No Signal Warning

「On」に設定すると無信号警告を通知します。

No Signal Warning Timing

無信号警告の検出時間を設定します。

No Signal Error

「On」に設定すると無信号エラーを通知します。

No Signal Error Timing

無信号エラーの検出時間を設定します。

次の3つの機能の何れかが働いて無信号を検出した場合は、「No Signal Warning」と「No Signal Error」による警告・エラーは通知されません。

無信号自動オフ、PC/パワーマネージメント、DVI-D/パワーマネージメント(☞ 38ページ)

設定例

No Signal Warning Timing : 5分
No Signal Error Timing : 10分
PC/パワーマネージメント : オン (30秒)
PC IN入力時に無信号を検出すると「PC/パワーマネージメント」が先に働いてスタンバイになります。

お知らせ

「No Signal Error Timing」は「No Signal Warning Timing」より短く設定できません。

Temperature Warning

「On」に設定すると本機の温度警告を通知します。

Temperature Warning Value

温度警告を検出する温度を設定します。

Temperature Warning Release Value

温度警告を解除する温度を設定します。

オプション (Options) メニュー

Power ON Screen Delay (起動遅延制御)

マルチ画面システムなどで複数台のディスプレイを設置し、同時に電源「入」にしたとき、各ディスプレイの電源が入るタイミングを遅らせて電源負荷を分散します。各ディスプレイごとに設定してください。

設定値 Off : 電源「入」と同時に電源が入ります。
1...30 : 遅延時間(秒)を設定します。電源を「入」にしてから設定した時間だけ遅れてディスプレイの電源が入ります。

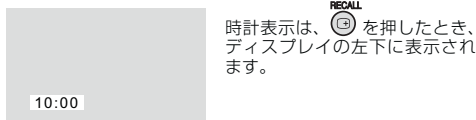
お知らせ

- 遅延動作開始から終了までの間は、電源ランプが緑色点滅します。
- 電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときにもこの機能は働きます。

Clock Display (時計表示設定)

時計表示の表示/非表示を設定します

設定値 Off : 時計を表示しません。
On : 時計を表示します。



お知らせ

現在時刻が未設定の場合、「Clock Display」を「On」に設定しても時計は表示されません。(☞ 40ページ)

Power On Message(無操作自動オフ警告メッセージ)

電源「入」時の無操作自動オフ警告メッセージの表示/非表示を設定します。

設定値 On : 電源「入」時に警告メッセージを表示します。
Off : 電源「入」時に警告メッセージを表示しません。

お知らせ

本設定は、「無操作自動オフ」が「有効」の場合に有効になります。(☞ 35ページ)

Function button assign 1 / Function button assign 2 (ボタン機能設定)

FUNCTION 1 2 を押したときに動作する機能を設定します。

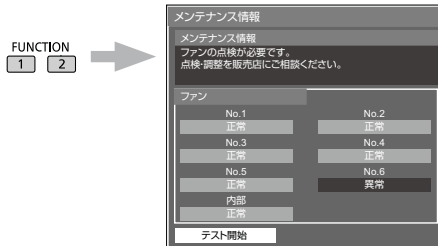
設定値 Signal : 「信号モード」メニューを表示します。
Screensaver : 「スクリーンセーバー」メニューを表示します。
ECO menu : 「ECOモード設定」メニューを表示します。
Set up TIMER : 「タイマー設定」メニューを表示します。
DIGITAL LINK : DIGITAL LINK入力に切り換えます。ET-YFB100の場合、YFB100側の入力切替メニューを表示します。
Maintenance : メンテナンス情報を表示します。

お知らせ

工場出荷時は次のように機能が設定されています。
FUNCTION1ボタン : DIGITAL LINK
FUNCTION2ボタン : Maintenance

FUNCTION ボタンを使う

メニュー画面を表示します。
(例 : Maintenance)



FUNCTIONボタンを押すとメニューが消えます。

Power Switch Lock (電源スイッチロック)

本体電源スイッチ (●/⏻) のロック設定をします。

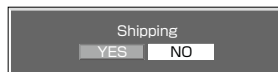
設定値 On : 電源スイッチの操作が無効になります。
Off : 電源スイッチの操作が有効になります。

ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには

「Button lock」「Remocon User level」「Remote ID」の設定を行い、リモコンと本体後面のボタンで本機の操作ができなくなったときに、設定を「Off」に戻し操作ができるようにします。

本体のボタン とリモコン を同時に5秒以上押す

「Shipping」メニューを表示した後、表示が消えロックが解除されます。



- 「Button lock」「Remocon User level」「Remote ID」の設定が「Off」に戻ります。

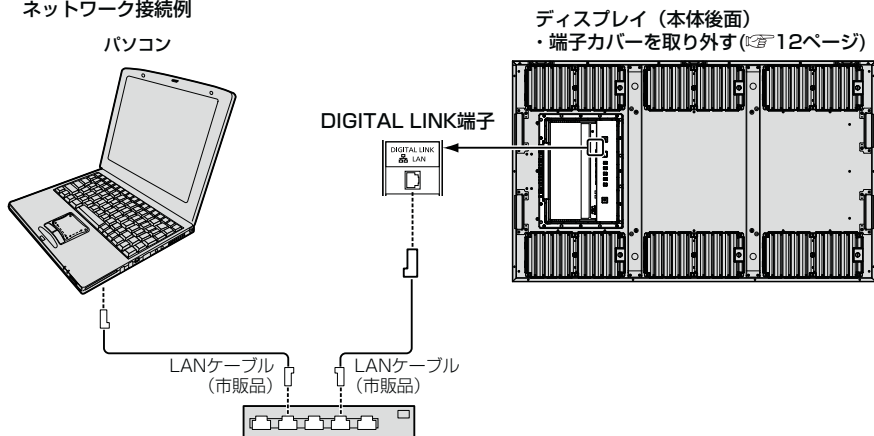
ネットワーク機能を使う

ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、ネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御することができます。

お知らせ ネットワーク機能をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行い、「制御端子選択」を必ず「LAN」に設定してください。(☞ 43ページ)
「LAN」に設定すると、リモコンで電源を「切」にしたとき(スタンバイ)、電源ランプが橙色点灯します。

ネットワーク接続例



ハブまたはブロードバンドルーター

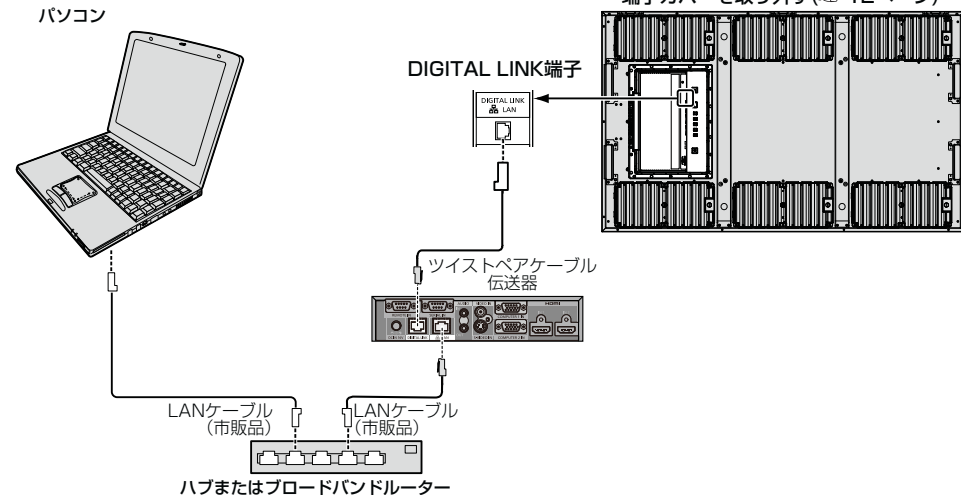
- お知らせ**
- LANケーブルは他の接続ケーブル(電源コードを除く)から離して配線してください。
 - ブロードバンドルーターやハブは、100BASE-TXに対応していることをご確認ください。
 - 「CAT5」以上の規格に適合したLANケーブルをご使用ください。
 - 静電気を帯びた手(体)でDIGITAL LINK端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。
DIGITAL LINK 端子及びLAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
 - 接続方法についてはネットワーク管理者にご相談ください。

ネットワーク機能を使う

DIGITAL LINK接続（ツイストペアケーブル伝送器との接続）

本機は、ツイストペアケーブル伝送器からのイーサネット信号を映像・音声信号とともにLANケーブルを介して受信する機能を備えています。

ツイストペアケーブル伝送器 経由のネットワーク接続例



お知らせ DIGITAL LINK接続をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行ってください。
（（P.43～45ページ））

ツイストペアケーブル伝送器接続時の使用上のご注意

設置 / 接続について

- DIGITAL LINK 接続用のケーブル配線工事は、専門の技術者または販売店に依頼してください。工事の不備によりケーブル伝送特性が得られず、映像や音声途切れたり乱れたりする原因となります。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間の伝送可能距離は最長100 mです。これを上回ると映像や音声途切れたり、LAN通信で誤動作したりすることがあります。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間にハブを使用しないでください。
- 他社製ツイストペアケーブル伝送器（受信器）を使用して本機に接続を行うとき、他社製ツイストペアケーブル伝送器と本機の間には別のツイストペアケーブル伝送器（送信器）を経由させないでください。映像、音声途切れたり乱れたりする原因となります。
- 外部からのノイズだけでなく、内部からのノイズにも影響を受けやすくなりますので、できるだけケーブルは巻かずに引き伸ばした状態で敷設してください。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間のケーブルは、他のケーブル、特に電源ケーブルからは離して敷設してください。
- 複数のケーブルを敷設するときは、束ねないで並走する距離をできるだけ短くしてください。
- ケーブル敷設後に、[DIGITAL LINK ステータス]の信号品質が、-12 dB以下であることを確認してください。

ツイストペアケーブルについて

- ツイストペアケーブル伝送器と本機間のLANケーブルは、次の条件に適合したものをご使用ください。
 - CAT5e以上の規格に適合
 - ストレート結線
 - シールドタイプ（コネクタを含む）
 - 単線
- ケーブル敷設時にはケーブルテスターやケーブルアナライザなどを使用して、ケーブルの特性がCAT5e以上の特性を満たしていることをご確認ください。また、途中に中継コネクタを介している場合は、それも含めて測定してください。
- ケーブルを強い力で引っ張らないでください。また、無理に曲げたり折りたたまないようにしてください。

その他

- 本機は、当社製デジタルインターフェイスボックス（ET-YFB100）に対応しています。他社製ツイストペアケーブル伝送器の対応については、弊社WEBサイト（<http://panasonic.biz/prodisplays/products/TH-47LFX60J.html>）をご覧ください。

コマンドコントロール

本機のネットワーク機能は、ネットワークからシリアル制御と同等に本機を制御することができます。

対応コマンド

シリアル制御で使用しているコマンドに対応しています。(P.17ページ)

【お知らせ】 詳しい使用方法が必要な場合は、販売店にご相談ください。

PJLink™プロトコル

本機のネットワーク機能はPJLink™クラス1に対応しており、PJLink™プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink™プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメータ 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR ?	電源状態問い合わせ	パラメータ 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
INPT	入力切り換え	パラメータ
INPT ?	入力切換問い合わせ	※ コマンドINST ?のパラメータを参照。
AVMT	シャッター制御	パラメータ 10 = 映像オン (映像ミュート解除), 11 = 映像オフ (映像ミュート) 20 = 音声オン (音声ミュート解除), 21 = 音声オフ (音声ミュート) 30 = シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31 = シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
AVMT ?	シャッター制御問い合わせ	パラメータ 11 = 映像オフ (映像ミュート) 21 = 音声オフ (音声ミュート) 30 = シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31 = シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
ERST ?	エラー状態問い合わせ	パラメータ 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 または 2 のいずれか 2 バイト目: 0 3 バイト目: 0 4 バイト目: 0 5 バイト目: 0 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 または 2 のいずれか 0 ~ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない, 2 = エラー
LAMP ?	ランプ状態問い合わせ	未対応です。
INST ?	入力切換一覧問い合わせ	パラメータ 11: PC IN入力 (PC) 31: DIGITAL LINK入力 (DIGITAL LINK) 32: HDMI入力 (HDMI) 33: DVI-D IN入力 (DVI)
NAME ?	ディスプレイ名問い合わせ	「ネットワーク設定」の「ディスプレイ名選択」の設定内容を応答します。
INF1 ?	メーカー名問い合わせ	“Panasonic” と応答します
INF2 ?	機種名問い合わせ	“47LFX60J” / “47LFX6NJ” と応答します
INFO ?	その他情報問い合わせ	バージョン番号を応答します
CLSS ?	クラス情報問い合わせ	“1” と応答します

PJLink™セキュリティ認証

PJLink™のパスワードには“panasonic”を設定してください。

- PJLink™は、日本、米国、その他の国や地域における出願商標です。

PJLink™に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。
URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

WEB ブラウザコントロールを使う

WEBブラウザを使用して、本機の制御、ネットワーク設定、パスワード設定ができます。

WEBブラウザコントロールを使う前に

WEBブラウザコントロールを使うためには、本機の設定とパソコンの設定が必要になります。

■ 本機の設定

本機の「ネットワーク設定」で各設定を行い、「制御端子選択」を必ず「LAN」に設定してください。(☞ 43ページ)

■ パソコンの設定

プロキシサーバーの設定を解除し、JavaScriptを有効にしてください。

(Windows)

プロキシサーバーの設定を解除する

- 1 [インターネットのプロパティ]ウィンドウを表示する。
[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット] → [インターネットオプション] をクリックする。
- 2 [接続]タブの[LANの設定]をクリックする。
- 3 [自動構成スクリプトを使用する]と[LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックを外す。
- 4 [OK]をクリック

JavaScriptを有効にする

- 1 [インターネットのプロパティ]ウィンドウを表示する。
[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [インターネットオプション] をクリックする。
- 2 [セキュリティ]タブのセキュリティレベルを[既定のレベル]にする。または[レベルのカスタマイズ]から[アクティブスクリプト]を有効にする。

(Macintosh)

プロキシサーバーの設定を解除する

- 1 [Safari]メニューの[環境設定...]をクリックする。「設定」画面が表示されます。
- 2 [詳細]タブの[プロキシ]の[設定を変更...]をクリックする。「プロキシ」をクリックし、プロキシサーバーを設定してください。
- 3 [web プロキシ]と[自動プロキシ]のチェックを外す。
- 4 [今すぐ適用]をクリックする。

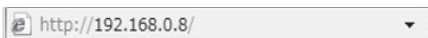
JavaScriptを有効にする

- 1 Safariの[セキュリティ]を表示する。
- 2 [web コンテンツ]の[JavaScript を有効にする]にチェックを入れる。

WEBブラウザからのアクセス

WEBブラウザを使用して、WEBブラウザコントロールのTOP画面にアクセスします。

- 1 WEBブラウザを起動させる。
- 2 本機の「LAN設定」で設定したIPアドレスを入力する。(☞ 44ページ)

 http://192.168.0.8/

- 3 認証画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力する。

認証画面

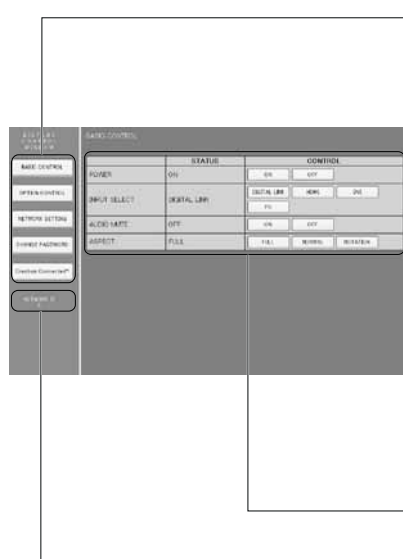


- 4 「OK」をクリックする。
ログイン後、WEB ブラウザコントロールの TOP 画面が表示されます。(☞ 54 ページ)

- お知らせ**
- ここで使用するパスワードは、コマンドコントロール、PJLink™ セキュリティ認証で使用するパスワードと共通です。
 - 出荷時のユーザー名とパスワードは、以下の通りです。
ユーザー名：user1
パスワード：panasonic
 - パスワードはログイン後、パスワード設定画面で変更できます(☞ 55 ページ)。ユーザー名は、変更できません。
 - パナソニック株式会社およびその関連会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。







■ WEBブラウザコントロールのTOP画面構成

ログイン後、WEBブラウザコントロールのTOP画面が表示されます。



① メニュー

メニュー項目が表示されます。ボタンをクリックすると、各項目の設定画面が表示されます。

項目	説明
BASIC CONTROL	BASIC CONTROL画面が表示されます。( 下記)
OPTION CONTROL	OPTION CONTROL画面が表示されます。( 下記)
NETWORK SETTING	ネットワーク設定画面が表示されます。( 55ページ)
CHANGE PASSWORD	パスワード設定画面が表示されます。( 55ページ)
Crestron Connected™	Crestron Connected™の操作画面が表示されます。( 56・57ページ) ● 「ネットワーク設定」の「Crestron Connected™」が「オフ」の場合このボタンは表示されません。( 43ページ)

② メニューで選択した項目に従い、設定状態や設定項目が表示されます。

③ ネットワークID情報

本機を識別するIDが表示されます。

ディスプレイの制御 (BASIC CONTROL / OPTION CONTROL画面)

メニューの「BASIC CONTROL」または、「OPTION CONTROL」をクリックしてください。本機の各種制御を行うことができます。

■ BASIC CONTROL画面

メニューの「BASIC CONTROL」をクリックしてください。本機の状態と、設定変更のためのボタンが表示されます。


	STATUS	CONTROL
POWER	ON	<input type="button" value="ON"/> <input type="button" value="OFF"/>
INPUT SELECT	DIGITAL LINK	<input type="button" value="DIGITAL LINK"/> <input type="button" value="HOME"/> <input type="button" value="DVS"/> <input type="button" value="PG"/>
AUDIO MUTE	OFF	<input type="button" value="ON"/> <input type="button" value="OFF"/>
ASPECT	FULL	<input type="button" value="FULL"/> <input type="button" value="NORMAL"/> <input type="button" value="ROTATION"/>

項目	説明
POWER	本機の電源「ON」「OFF」を切り換えます。
INPUT SELECT	入力信号を切り換えます。映像機器の接続状態によって、ボタン表示が変わります。
AUDIO MUTE	音声ミュートの「ON」「OFF」を切り換えます。
ASPECT	画面モードを切り換えます。

■ OPTION CONTROL画面

メニューの「OPTION CONTROL」をクリックしてください。本機をコマンド制御するためのコマンド入力欄が表示されます。

COMMAND	<input type="text"/>
RESPONSE	<input type="text"/>
<input type="button" value="SEND"/>	

項目	説明
COMMAND	コマンドを入力します。シリアル制御で使用しているコマンドと同じコマンドを使います。( 17ページ)
RESPONSE	本機からの応答が表示されます。
SEND	コマンドが送信され、実行されます。

お知らせ

- 設定変更後、ディスプレイの応答が表示されるまでに、時間がかかる場合があります。

WEB ブラウザコントロールを使う

ネットワーク設定 (NETWORK SETTING画面)

メニューの「NETWORK SETTING」をクリックしてください。ネットワークの各種設定を行うことができます。設定項目の詳しい内容については、本機の「初期設定」の「ネットワーク設定」を確認してください。(P.44ページ)

DHCP	<input type="checkbox"/> OFF <input type="checkbox"/> ON
IP ADDRESS	192.168.0.0
SUBNET MASK	255.255.255.0
GATEWAY	192.168.0.1
PORT	1024
LAN SPEED	<input type="checkbox"/> AUTO <input type="checkbox"/> 100 FULL <input type="checkbox"/> 100 HALF
NETWORK ID	0
<input type="button" value="SAVE"/>	

項目	説明
DHCP	DHCPサーバーを利用する場合は「ON」に、利用しない場合は「OFF」にします。
IP ADDRESS	IPアドレスを入力します。
SUBNET MASK	サブネットマスクを入力します。
GATEWAY	ゲートウェイアドレスを入力します。
PORT	コマンドコントロールで使用するポート番号を入力します。設定範囲は1024～65535です。
LAN SPEED	LAN環境の接続速度を設定します。
NETWORK ID	本機を識別するIDを設定します。設定範囲は0～99です。
SAVE	各設定値を保存します。

- お知らせ**
- DHCPサーバーを利用する場合、DHCPサーバーが立ち上がっていることを確認してください。
 - DHCPサーバーを使用しているとき、IP ADDRESS、SUBNET MASK、GATEWAYの値は入力できません。
 - 設定値が正しく変更されると「NETWORK SETTING CHANGED.」が表示され、変更された設定項目も表示されます。

パスワード設定 (CHANGE PASSWORD画面)

メニューの「CHANGE PASSWORD」をクリックしてください。WEBブラウザコントロールにアクセスするためのパスワード設定を行うことができます。ここでパスワードを変更すると、コマンドコントロール、PJLink™セキュリティ認証で使用するパスワードも変更されます。

OLD PASSWORD	*****
NEW PASSWORD	*****
NEW PASSWORD (RETYPE)	*****
<input type="button" value="SAVE"/>	

項目	説明
OLD PASSWORD	変更前のパスワードを入力します。
NEW PASSWORD	変更後のパスワードを入力します。
NEW PASSWORD (RETYPE)	確認のため、「NEW PASSWORD」で入力したパスワードを再度入力します。
SAVE	変更後のパスワードを保存します。確認画面が表示され、「OK」をクリックすると、パスワードが変更されます。

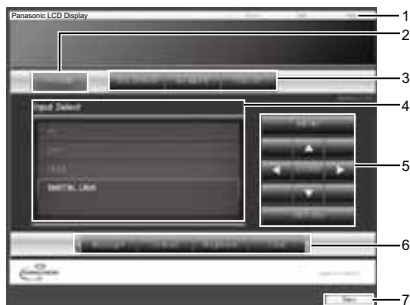
- お知らせ**
- 出荷時のパスワードは、「panasonic」です。
 - パスワードで使用できる文字は半角英数字で、32文字以内です。
 - パスワードが正しく変更されると「Password has changed.」が表示されます。

Crestron Connected™ (Crestron Connected™操作画面)

Crestron Connected™でディスプレイの監視/制御を行うことができます。

ご使用のパソコンにAdobe FlashPlayerがインストールされていない場合、もしくはFlashに対応していないブラウザでは表示されません。その場合、操作ページの[Back]をクリックして前のページに戻ってください。

●操作ページ



1 [Tools] [Info] [Help]

ディスプレイの設定/情報/ヘルプページに切り換えるタブです。

2 [POWER]

電源の切/入を切り換えます。

3 [VOL DOWN] [AV MUTE] [VOL UP]

音量/AVミュートの操作をします。

ディスプレイの電源が切れている場合、これらの操作はできません。

4 [Input Select]

入力切り換えの操作をします。

ディスプレイの電源が切れている場合、この操作はできません。

5 メニュー画面の操作ボタン

メニュー画面の操作をします。

6 画質調整

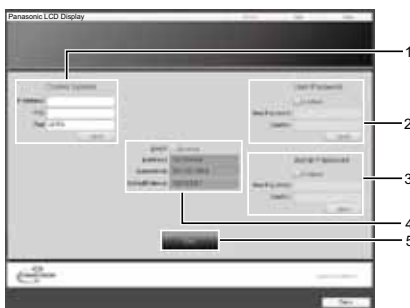
画質に関する項目の操作をします。

7 [Back]

前のページへ戻る操作をします。

●[Tools]ページ

操作ページで[Tools]をクリックします。



1 [Control System]

ディスプレイに接続するコントローラーとの通信に必要な情報を設定します。

2 [User Password]

Crestron Connected™の操作ページ内でのユーザー権限パスワードを設定します。

3 [Admin Password]

Crestron Connected™の操作ページ内でのアドミニストレーター権限パスワードを設定します。

4 [Network Status]

有線LANの設定内容を表示します。

[DHCP]

[IpAddress]

[SubnetMask]

[DefaultGateway]

いずれも現在設定している値を表示します。

5 [Exit]

操作ページに戻ります。

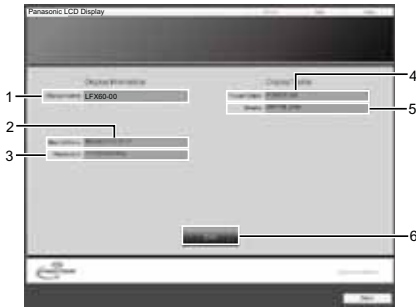
お知らせ

- Crestron Connected™でディスプレイの監視/制御を行う場合は、[ネットワーク設定]メニューの[Crestron Connected™]を[オン]に設定してください。(☞ 43ページ)

WEB ブラウザコントロールを使う

● [Info]ページ

操作ページで[Info]をクリックします。



1 [Display Name]

ディスプレイ名を表示します。

2 [Mac Address]

MACアドレスを表示します。

3 [Resolution]

解像度を表示します。

4 [Power Status]

電源の状態を表示します。

5 [Source]

選択している映像入力を表示します。

6 [Exit]

操作ページに戻ります。

● [Help]ページ

操作ページで[Help]をクリックします。

[Help Desk]ウィンドウが表示されます。



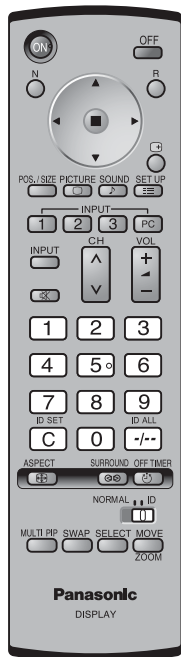
1 [Help Desk]

Crestron Connected™を利用する管理者に対してメッセージの送受信ができます。

ID リモコン機能を使う

複数台のディスプレイ本体を近接した場所で使用する場合、リモコンでディスプレイ本体を個別に操作することができます。その場合は事前にID selectで設定したディスプレイ本体のID番号とリモコンのID番号を合わせする必要があります。以下の手順でリモコンのID番号を設定してください。

お知らせ 本機能をご使用になるには、別売のIDリモコン（品番：EUR7636070R）が必要です。



■リモコンのID番号の設定

- 1 **NORMAL ID** をID側(**NORMAL ID**)にする。
- 2 **ID SET** **C** を押す。
- 3 **1** ~ **9**、**0** から選んで押す。(2桁目の番号を設定)
- 4 **1** ~ **9**、**0** から選んで押す。(1桁目の番号を設定)

- 手順2～4は時間を空けずに操作してください。
- 設定できるID番号は0～99までです。

例) IDを「1」に設定の場合は手順2の後、続けて **0**、**1** を押す。
IDを「12」に設定の場合は手順2の後、続けて **1**、**2** を押す。
● 3桁の番号を押したときは、最初の2桁が有効になります。

■IDリモコンのボタン操作



以外のボタンは通常のリモコンと同じ操作になります。

■リモコンのID番号の設定解除 (ID「0」)












ID selectで設定したID番号と一致しなくても操作できます。

ID ALL **ID SET** **-/--** を押す。(**C**、**0**、**0** を押したときと同じです)

- お知らせ**
- IDリモコンで操作する場合はRemote IDを「On」にします。(☞ 48ページ)
オプションメニュー表示中はIDが一致しなくても操作できます。
 - ID selectが0以外の設定で、リモコンのID番号がID selectの設定と一致しない場合は、リモコンで操作できません。(☞ 48ページ)

工場出荷時の設定に戻すには

「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「画面位置/サイズ」「テクニカル」「オプション」メニューの設定、調整値を以下の操作で工場出荷時の状態に戻します。

リモコン操作	本体操作
1  押して「初期設定」メニュー画面を表示する。	 MENU を数回押して「初期設定」メニュー画面を表示する。
2  <ul style="list-style-type: none"> ① 押して「表示言語切換」を選択する。 ② 3秒以上押す。 	 -▼ または  +▲ を押して「表示言語切換」を選択する。
3  <ul style="list-style-type: none"> ① 押して「Shipping」を選択する。 ② 押して「Shipping」画面を表示する。 	 ENTER/■ を5秒以上押す。
4  <ul style="list-style-type: none"> ① 押して「YES」を選択する。 ② 押す。 	 +▲ ① 押して「YES」を選択する。  ENTER/■ ② 押す。
5  10秒以上待った後、本体の電源 (O/I) スイッチを押して電源を切る。 ※電源スイッチがロックされている場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。	

表示可能な入力信号

PC信号

* : 表示可能な信号

	信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	PC IN (Dot clock (MHz))	DVI-D IN (Dot clock (MHz))	HDMI
1	640x400@70Hz	31.46	70.07	* (25.17)		
2	640x480@60Hz	31.47	59.94	* (25.18)	* (25.18)	*
3	640x480@72Hz	37.86	72.81	* (31.5)		
4	640x480@75Hz	37.50	75.00	* (31.5)		
5	640x480@85Hz	43.27	85.01	* (36.0)		
6	800x600@56Hz	35.16	56.25	* (36.0)		
7	800x600@60Hz	37.88	60.32	* (40.0)	* (40.0)	*
8	800x600@72Hz	48.08	72.19	* (50.0)		
9	800x600@75Hz	46.88	75.00	* (49.5)		
10	800x600@85Hz	53.67	85.06	* (56.25)		
11	852x480@60Hz	31.47	59.94		* (34.24)	*
12	1024x768@50Hz	39.55	50.00		* (51.89)	*
13	1024x768@60Hz	48.36	60.00	* (65.0)	* (65.0)	*
14	1024x768@70Hz	56.48	70.07	* (75.0)		
15	1024x768@75Hz	60.02	75.03	* (78.75)		
16	1024x768@85Hz	68.68	85.00	* (94.5)		
17	1066x600@60Hz	37.64	59.94		* (53.0)	*
18	1152x864@60Hz	53.70	60.00		* (81.62)	*
19	1152x864@75Hz	67.50	75.00	* (108.0)		
20	1280x768@60Hz	47.70	60.00	* (80.14)		
21	1280x960@60Hz	60.00	60.00	* (108.0)		
22	1280x960@85Hz	85.94	85.00	* (148.5)		
23	1280x1024@60Hz	63.98	60.02	* (108.0)	* (108.0)	*
24	1280x1024@75Hz	79.98	75.02	* (135.0)		
25	1280x1024@85Hz	91.15	85.02	* (157.5) ※1		
26	1366x768@50Hz	39.55	50.00		* (69.92)	*
27	1366x768@60Hz	48.36	60.00	* (86.71)	* (87.44)	*
28	1400x1050@60Hz	65.22	60.00		* (122.61)	*
29	1600x1200@60Hz	75.00	60.00	* (162.0)	* (162.0)	*
30	1920x1080@60Hz	67.50	60.00	* (148.5)	* (148.5)	*
31	1920x1200@60Hz	74.04	59.95		* (154.0)	*
32	Macintosh13"(640x480)	35.00	66.67	* (30.24)		
33	Macintosh16"(832x624)	49.72	74.55	* (57.28)		
34	Macintosh21"(1152x870)	68.68	75.06	* (100.0)		

※ 1 SYNC ON G には対応していません。

- 自動判別した信号フォーマットが、実入力信号と異なった表示になる場合があります。
- DIGITAL LINK 入力の対応信号は、HDMI 入力の対応信号と同じです。

コンポーネント信号

* : 表示可能な信号

	信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	DVI-D IN (Dot clock (MHz))	HDMI
1	525(480)/60i	15.73	59.94	* (27.0)	*
2	525(480)/60p	31.47	59.94	* (27.0)	*
3	625(575)/50i	15.63	50.00		*
4	625(576)/50i	15.63	50.00	* (27.0)	*
5	625(575)/50p	31.25	50.00		*
6	625(576)/50p	31.25	50.00	* (27.0)	*
7	750(720)/60p	45.00	60.00	* (74.25)	*
8	750(720)/50p	37.50	50.00	* (74.25)	*
9	1,125(1,080)/60p	67.50	60.00	* (148.5)	*
10	1,125(1,080)/60i	33.75	60.00	* (74.25)	*
11	1,125(1,080)/50p	56.25	50.00	* (148.5)	*
12	1,125(1,080)/50i	28.13	50.00	* (74.25)	*
13	1,125(1,080)/24psF	27.00	48.00		*
14	1,125(1,080)/30p	33.75	30.00	* (74.25)	*
15	1,125(1,080)/25p	28.13	25.00	* (74.25)	*
16	1,125(1,080)/24p	27.00	24.00	* (74.25)	*

修理を依頼される前に...もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	●液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。これは故障ではありません。	—
電源が入らない	●コンセントまたは本機から電源プラグが外れていませんか。	12・21
電源が自動的に切れる	●「無信号自動オフ」、「PC/パワーマネージメント」、「DVI-D/パワーマネージメント」または「無操作自動オフ」が「オン（有効）」に設定されていませんか。	35・38
リモコンで操作できない	●電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。 ●リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 ●本機専用のリモコンを使用していますか。（他のリモコンでは動作しません） ●オプションメニューの「Remocon User level」設定を「Off」以外にしていませんか。	— — — 47
IDリモコンで操作できない	●「Remote ID」設定を「On」にしていませんか。また、リモコンの操作モード切り換えスイッチを「ID」側にしていませんか。（「Remote ID」設定を「On」にしている場合はリモコンの操作モード切り換えスイッチを「ID」側にしてID番号を設定する必要があります）	48・58
本機から時々、「ピシッ」と音がする	●画面や音声に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他には影響ありません。	—
映像が出るまでに時間がかかる	●本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	●自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。	—
色が薄い	●色の濃さの調整がずれていませんか。（映像の調整値をご確認ください。）	31
色模様が出たり色が消える	●他の映像機器から影響（妨害電波）を受けていませんか。本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
ズームにしたとき画面の上または下が欠ける	●映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。画面位置の調整をしてください。	28・29
ズームにしたとき画面の上下に映像の出ない部分ができる	●16：9より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像の出ない部分ができることがあります。	25・26
映像の輪郭がチラチラする	●パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分がチラチラするように見えることがあります。故障ではありません。	—
内部から音がする	●電源を入れると、ファンの駆動音が聞こえる場合があります。故障ではありませんので、ご了承ください。	—
本体のボタンで操作できない	●オプションメニューの「Button lock」設定を「Off」以外にしていませんか。	47
映像、音声が出ないことがある。	●HDMI信号やDVI信号をセレクトや分配器を通して本ディスプレイに入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われない場合があります。本機の電源を入れ直すまたは、セレクトや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—
RS232C制御ができない	●接続は正しく行われていますか。 ●1ページのRS232CコマンドをディスプレイのRS232C端子から制御する場合は、「制御端子選択」が「RS-232C(本体)」、DIGITAL LINK機器のRS232C端子から制御する場合は、「RS-232C(DIGITAL LINK)」になっていますか。 ●「LAN設定」は正しく設定されていますか。（DIGITAL LINK機器のRS232C端子から制御する場合）	17 43 44
LAN制御ができない	●接続は正しく行われていますか。 ●WEBブラウザコントロール、52ページのコマンドコントロールで制御する場合は、「制御端子選択」が「LAN」になっていますか。 ●「LAN設定」の設定は正しく行われていますか。 ●AMX社、Crestron Electronics, Inc.、Extron社の機器を接続している場合は、「AMX D.D.」設定「Crestron Connected™」設定、「Extron XTP」設定をお使いに機器に合わせて設定してください。 ●「DIGITAL LINKステータス」の「信号品質」情報を参照し、LANケーブルが断線している、ケーブルがシールドされていないなど、LANケーブルの状態等を確認ください。	50 52～57 44 43 45
DIGITAL LINK 端子の映像または音声が出ない	●映像（出力）機器とツイストペアケーブル伝送器、ツイストペアケーブル伝送器と本機との接続は正しく行われていますか。 ●「DIGITAL LINK モード」が「自動」または「DIGITAL LINK」になっていますか。[イーサネット]になっていませんか。	18 43

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

61 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様の依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後3年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号
製品名・品番・お買い上げ日
故障または異常の内容
訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410**

受付: 9時~17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

品番		TH-47LFX60J (47V型)*	TH-47LFX6NJ (47V型)*
種類	フルハイビジョン液晶ディスプレイ		
使用電源	AC100V ±10% 50Hz / 60Hz		
消費電力	370W		270W
	本体電源「切」時 約0.3W		
	リモコンで電源「切」時 約0.5W		
	アウトドモード使用時 約41W ネットワークスタンバイモード時 約16W		
液晶ディスプレイパネル	IPSパネル 47V型* (アスペクト比16:9)		
画面寸法	幅 103.9 cm 高さ 58.4 cm 対角 119.2 cm		
画素数	2,073,600画素 (水平1,920×垂直1,080) [ドット数5,760×1,080]		
動作使用条件	温度: 0℃ ~ 50℃ (アウトドモード使用時 -20℃ ~ 50℃) 湿度: 20% ~ 80% (結露のないこと)		
DIGITAL LINK 端子 DIGITAL LINK, LAN	RJ45 ネットワーク接続用、DIGITAL LINK接続用、PJLink™対応 通信方式: RJ45 100BaseTX		
HDMI入力端子	TYPE Aコネクター		
デジタルRGB 入力端子 DVI-D IN	DVI-D 24ピン DVI Revision 1.0準拠 HDCP 1.1対応 AUDIO M3ジャック 0.5V [rms] PC INと共用		
パソコン入力端子 PC IN	ミニD-sub 15ピン SXGA対応: マルチスキャン方式 (DDC2B対応) *対応周波数: 水平30 kHz ~ 110 kHz 垂直48 Hz ~ 120 Hz (但し表示ドット数が水平あるいは、垂直画素数を超える信号は簡易表示) G 1.0V [p-p] (75Ω) 同期信号を含む 0.7V [p-p] (75Ω) 非同期信号時 B 0.7V [p-p] (75Ω) R 0.7V [p-p] (75Ω) HD/VD 1.0 ~ 5.0V [p-p] (ハイインピーダンス) AUDIO M3ジャック 0.5V [rms] DVI-D INと共用		
シリアル端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9ピン RS-232C準拠		
音声出力端子 AUDIO OUT	L-R RCAピンジャック×2 出力: 可変 (-∞ ~ 0 dB) [1 kHz 0 dB入力、10 kΩ負荷時]		
外形寸法	幅 116.2 cm 高さ 70.6 cm 奥行 21.6 cm		
質量	約 47.0 kg		
キャビネット材質	前面: アルミ、バックカバー: アルミ		

リモコン	品番	N2QAYB000691
	使用電源	DC 3V (単3形乾電池2コ)
	操作距離	約 7 m以内 (液晶ディスプレイ正面距離)
	使用範囲	受信部左右: 45°以内、受信部上下: 45°以内
	質量	約 100 g (乾電池含む)

※ ディスプレイのV型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
「DIGITAL LINK」とは、映像・音声などの信号をツイストペアケーブルを使用して伝送する技術で、当社プロジェクターとディスプレイの独自名称です。

〈当製品に関するソフトウェア情報〉

この製品には、一部Free BSD LICENSEに基づきライセンスされるソフトウェアを搭載しております。

上記規定に基づきFree BSD LICENSE規定を記載します。

(なお、かかる規定は第三者による規定であるため、原文（英文）で記載しております。)

Copyright © 1980, 1986, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

便利メモ <small>おぼえのため記入 されると便利です。</small>	お買い上げ日	年 月 日	品 番	
	販売店名	☎ () -	お客様ご相談窓口	
		☎ () -	☎ () -	

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Corporation 2014